令和5年度 第6次白鷹町総合計画のための 「まちづくりアンケート」 結果報告書

令和6年6月山形県白鷹町

目 次

1. 調査の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	Ī
1. 調査の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2. 調査の内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
(1)調査対象 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
(2)対象票数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
(3)調査方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
(4)調査期間 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
3. 回収結果 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
(1)回収数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
(2)回収率 ······	1
Ⅱ. 回答者の属性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
1. あなた自身のことについて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
(1)性別 ·····	2
(2)年齢 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	2
(3) 世帯の家族構成 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
(4)世帯主に対する続柄 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
(5)職業 ·····	3
(6)居住地区 ······	3
(7)居住年数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
Ⅲ. 調査の結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
1.「暮らしやすさ」について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
(1)暮らしやすさについて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
(2) 定住意向について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
2. 町が行う「仕事」、「サービス」について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1 0
(1)町の仕事、サービスに対する満足度・重要度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1 0
(2) 今後の行政サービスのあり方について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3 0
3.「共創のまちづくり」について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3 3
(1) 地域活動への参加の有無 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3 3
(2) 地域活動やボランティアへの関心の有無・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3.5

(3)白鷹町が定める「協働のまちづくり条例」の周知・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3 7
(4) 参加したい活動 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3 9
4. お住まいの集落について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4 0
(1) お住まいの集落(区や町内)の今後・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	40
(2)お住まいの集落(区や町内)の困りごと・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4 1
(3) お住まいの集落(区や町内)を維持していくためにすること・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4 2
5. 主要施策について考える優先順位について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4 5
(1)主要施策の優先順位・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4 5
6. 自由意見 ······	4 6

I. 調査の概要

1. 調査の目的

町が提供する行政サービスについて、町民の皆様から現在の満足度や今後の重要度をお聞かせいただき、町の限られた様々な資源を有効に活用しつつ、一層の効率的な行政運営の一助とすることを目的に実施するものです。

2. 調査の内容

(1)調査対象:白鷹町在住で18歳以上の町民

(2) 対象票数: 4,000名 (無作為抽出)

(3)調査方法:郵送送付、郵送及びメール回収(無記名回答)

(4)調查期間:令和5年12月11日(月)~令和6年1月15日(月)

3. 回収結果

(1)回収数:1,140票

(2)回収率:28.5%

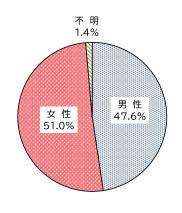
Ⅱ. 回答者の属性

1. あなた自身のことについて

(1)性別

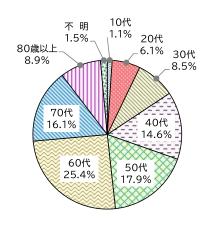
回答項目	回答者数	構成比
男性	543	47.6%
女 性	581	51.0%
不明	16	1.4%
合 計	1, 140	100.0%

「女性」が 51.0%、「男性」が 47.6%と「女性」 が 「男性」を 3.4 ポイント上回っています。



(2)年齢

回答項目	回答者数	構成比
10代	12	1.1%
20代	70	6.1%
3 0代	97	8.5%
40代	167	14.6%
5 0代	204	17.9%
60代	289	25.4%
70代	183	16.1%
80歳以上	101	8.9%
不 明	17	1.5%
合 計	1,140	100.0%

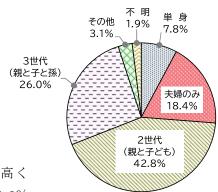


「60代」の割合が最も高く25.4%、次いで「50代」が17.9%、「70代」が16.1%、「40代」が14.6%の順となっています。

(3)世帯の家族構成

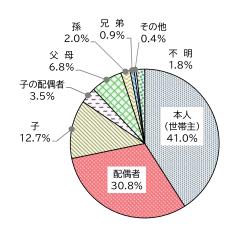
回答項目	回答者数	構成比
単 身	89	7.8%
夫婦のみ	210	18.4%
2世代(親と子ども)	488	42.8%
3世代 (親と子と孫)	296	26.0%
その他	35	3.1%
不 明	22	1.9%
合 計	1,140	100.0%

「2世代(親と子ども)」の割合が最も高く 42.8%、次いで「3世代(親と子と孫)」が 26.0%、 「夫婦のみ」が 18.4%の順となっています。



(4)世帯主に対する続柄

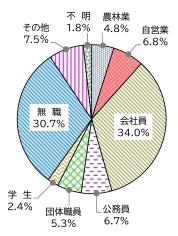
回答項目	回答者数	構成比
本人(世帯主)	467	41.0%
配偶者	351	30.8%
子	145	12.7%
子の配偶者	40	3.5%
父 母	78	6.8%
孫	23	2.0%
兄弟	10	0.9%
その他	5	0.4%
不 明	21	1.8%
合 計	1,140	100.0%



「本人(世帯主)」の割合が最も高く 41.0%、次いで「配偶者」が 30.8%、「子」が 12.7%の 順となっています。

(5) 職業

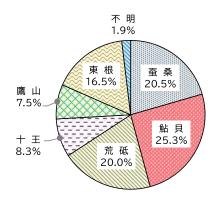
回答項目	回答者数	構成比
農林業	55	4.8%
自営業	77	6.8%
会社員	388	34.0%
公務員	76	6.7%
団体職員	60	5.3%
学 生	27	2.4%
無職	350	30.7%
その他	86	7.5%
不 明	21	1.8%
合 計	1,140	100.0%



「会社員」の割合が最も高く 34.0%、次いで「無職」が 30.7%、「その他」が 7.5%の順となっています。なお、「無職」の割合が高いのは、回答者の高齢者比率が高いためと考えられます。

(6)居住地区

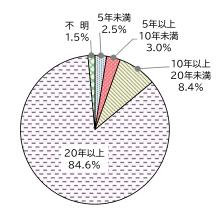
回答項目	回答者数	構成比
蚕 桑	234	20.5%
鮎 貝	288	25.3%
荒 砥	228	20.0%
十 王	95	8.3%
鷹山	85	7.5%
東根	188	16.5%
不明	22	1.9%
合 計	1,140	100.0%



「鮎貝」の割合が最も高く 25.3%、次いで「蚕桑」が 20.5%、「荒砥」が 20.0%、「東根」が 16.5%の順となっています。

(7)居住年数

回答項目	回答者数	構成比
5年未満	29	2.5%
5年以上10年未満	34	3.0%
10年以上20年未満	96	8.4%
20年以上	964	84.6%
不 明	17	1.5%
合 計	1,140	100.0%



「20 年以上」の割合が最も高く 84.6%、次いで「10 年以上 20 年未満」が 8.4%の順となっており、8 割以上の方が長く住んでいます。

Ⅲ. 調査の結果

- 1.「暮らしやすさ」について
 - (1) 暮らしやすさについて

問2 白鷹町を暮らしやすい町だと思いますか。(1つに○印)

回答項目	回答者数	構成比
大変暮らしやすい	87	7.6%
まあまあ暮らしやすい	566	49.6%
どちらともいえない	308	27.0%
どちらかといえば暮らしにくい	135	11.8%
非常に暮らしにくい	28	2.5%
不 明	16	1.4%
合 計	1, 140	100.0%

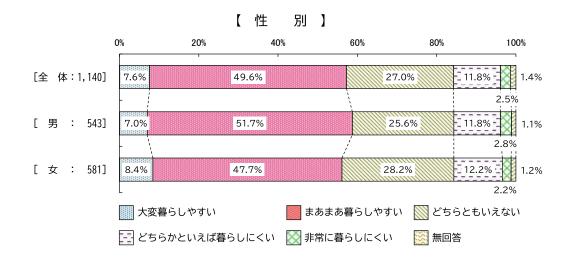
不 明 非常に暮ら 1.4% 大変暮らし しにくい やすい どちらかと 2.5% 7.6% いえば暮ら しにくい 11.8% どちらとも まあまあ暮 いえない らしやすい 27.0% 49.6%

「まあまあ暮らしやすい」の割合が最も高く 49.6%、次いで「どちらともいえない」が 27.0%、

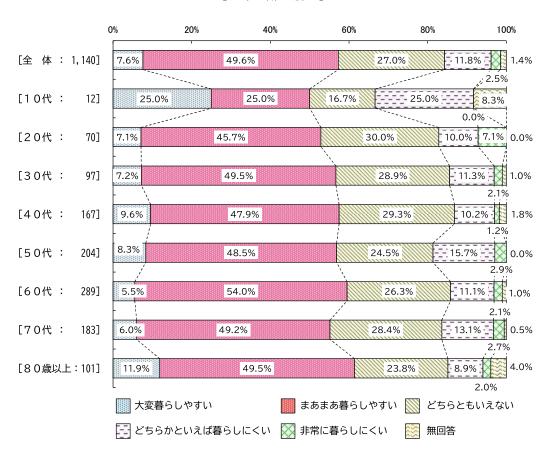
「どちらかといえば暮らしにくい」が11.8%の順

となっています。「大変暮らしやすい」(7.6%) と「まあまあ暮らしやすい」(49.6%) を合わせると 57.2%で、全体の半数以上の方が白鷹町を暮らしやすい町だと思っています。

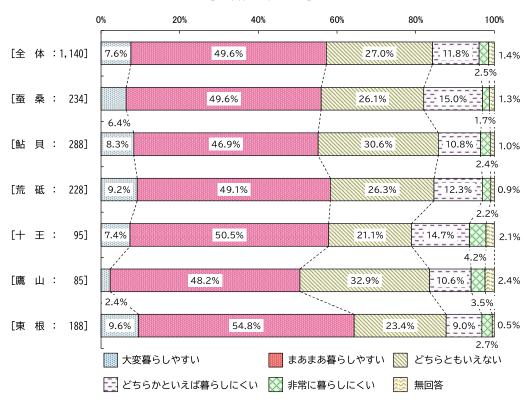
性別、年齢別、居住地区別、居住年数別ごとの回答については、次のとおりです。



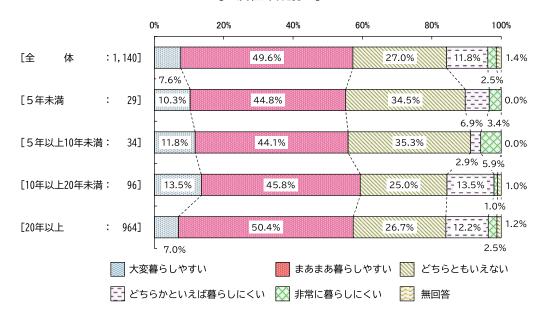
【年齢別】



【 居住地区別 】



【 居住年数別 】

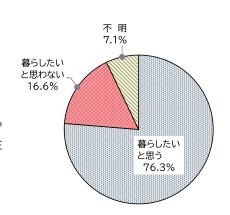


(2) 定住意向について

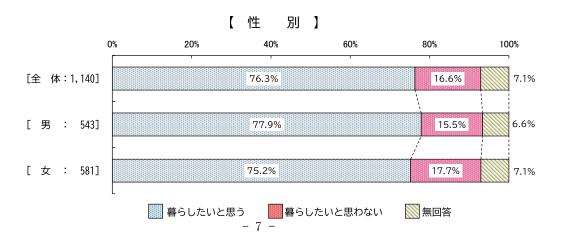
問3 これからも白鷹町で暮らしたいと思いますか。(1つに○印)

回答項目	回答者数	構成比
暮らしたいと思う	870	76.3%
暮らしたいと思わない	189	16.6%
不 明	81	7.1%
合 計	1, 140	100.0%

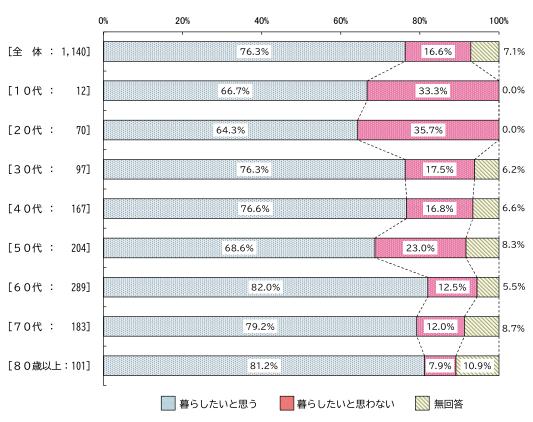
「暮らしたいと思う」の割合が最も高く 76.3% で、全体の7割以上の方がこれからも白鷹町に住む意向があります。



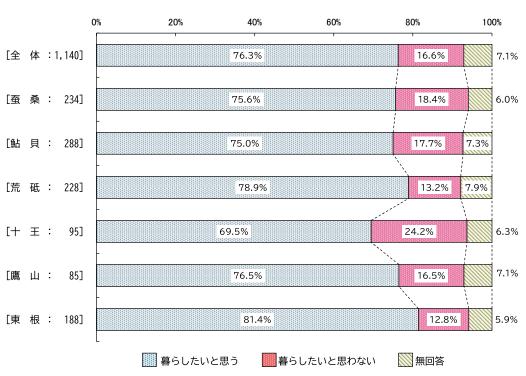
性別、年齢別、居住地区別、居住年数別ごとの回答については、次のとおりです。



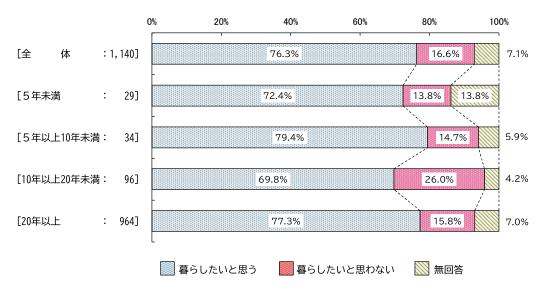
【年齢別】



【 居住地区別 】



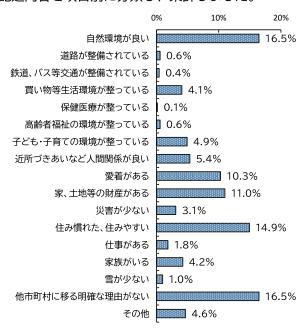
【 居住年数別 】



問3-1. 問3で「暮らしたいと思う」理由をお聞かせください。(記述式)

※回答は具体的に記述していただきましたが、記述内容を項目別に分類し、集計しました。

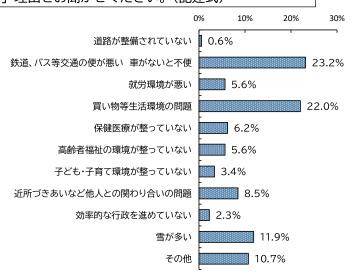
回答項目	回答数	構成比
自然環境が良い	117	16.5%
道路が整備されている	4	0.6%
鉄道、バス等交通が整備されている	3	0.4%
買い物等生活環境が整っている	29	4.1%
保健医療が整っている	1	0.1%
高齢者福祉の環境が整っている	4	0.6%
子ども・子育ての環境が整っている	35	4.9%
近所づきあいなど人間関係が良い	38	5.4%
愛着がある	73	10.3%
家、土地等の財産がある	78	11.0%
災害が少ない	22	3.1%
住み慣れた、住みやすい	106	14.9%
仕事がある	13	1.8%
家族がいる	30	4.2%
雪が少ない	7	1.0%
他市町村に移る明確な理由がない	117	16.5%
その他	33	4.6%
合 計	710	100.0%



問3で「暮らしたいと思う」と回答した理由としては、「自然環境が良い」、「他市町村に移る明確な理由がない」が共に16.5%と最も割合が高く、次いで「住み慣れた、住みやすい」が14.9%、「家、土地等の財産がある」が11.0%、「愛着がある」が10.3%の順となっています。

問3-2. 問3で「暮らしたいと思わない」理由をお聞かせください。(記述式)

	回答数	構成比
道路が整備されていない	1	0.6%
鉄道、バス等交通の便が悪い 車がないと不便	41	23. 2%
就労環境が悪い	10	5.6%
買い物等生活環境の問題	39	22.0%
保健医療が整っていない	11	6.2%
高齢者福祉の環境が整っていな い	10	5.6%
子ども・子育て環境が整ってい ない	6	3.4%
近所づきあいなど他人との関わり合いの問題	15	8.5%
効率的な行政を進めていない	4	2.3%
雪が多い	21	11.9%
その他	19	10.7%
合 計	177	100.0%



問3で「暮らしたいと思わない」と回答した理由としては、「鉄道、バス等交通の便が悪い 車がないと不便」が23.2%と最も割合が高く、次いで「買い物等生活環境の問題」が22.0%、 「雪が多い」が11.9%、「その他」が10.7%の順となっています。

2. 町が行う「仕事」、「サービス」について

(1) 町の仕事、サービスに対する満足度・重要度

問4 町が実施している施策の満足度と今後の重要度についておたずねします。それぞれの 項目ごとに、あてはまる番号を選んで1つに〇印をつけてください。

(満足度・重要度の分析の見方)

町の仕事、サービスに対する町民の満足度と重要度の分析において、以下のとおり回答結果 を得点化しています。

選択肢に点数を付し、その平均値を求め、満足度と重要度を数値化することによって項目毎 に比較できるようにしています。

満足度	重要度	点 数
満足	重要	4点
やや満足	やや重要	2点
どちらともいえない	どちらともいえない	0点
やや不満	あまり重要ではない	△2点
不満	重要ではない	△4点

※計算式(加重平均)

満足度= $[(「満足」の数×4点) + (「やや満足」の数×2点) + (「やや不満」の数×<math>\Delta2点$)

+ (「不満」の数×<mark>△4点</mark>)] ÷ (「どちらともいえない」を除く有効回答数)

重要度= [(「重要」の数×4点) + (「やや重要」の数×2点) + (「あまり重要ではない」の

数× $\triangle 2$ 点) + (「重要ではない」の数× $\triangle 4$ 点)] ÷ (「どちらともいえない」を除

く有効回答数)

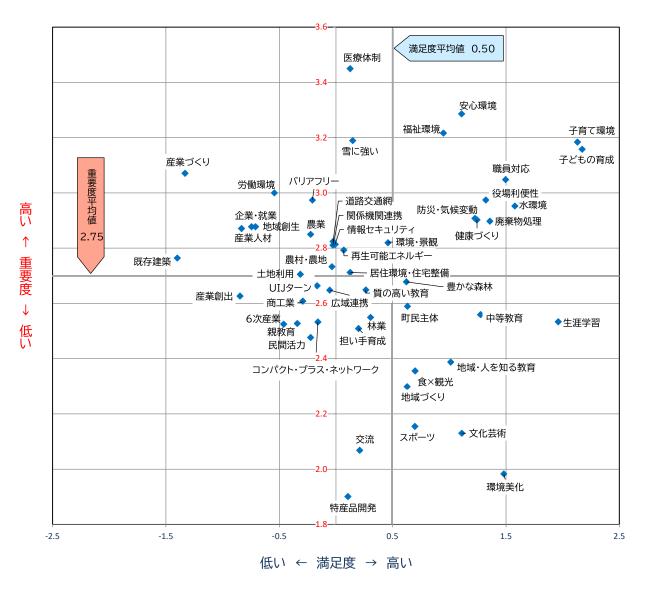
①「これまでの満足度」と「これからの重要度」の比較 各取組みの「満足度」と「重要度」は以下のとおりです。

相関図表示	町が実施している施策	満足度	重要度
【豊かな自然に包まれ、だれもが住み。	く、安心・やすらぎを感じる「まち」づくり】		
豊かな森林	(1)豊かな森林の保全	0.62	2.68
農村・農地	(2)魅力ある農村・農地をつくる	△ 0.04	2.73
土地利用	(3) 適正な土地利用	△ 0.31	2.71
水環境	(4)快適で潤いのある水環境	1.58	2.95
再生可能エネルギー	(5) 再生可能エネルギー利用の推進	0.07	2.79
環境・景観	(6)環境・景観の保全	0.46	2.82
廃棄物処理	(7)廃棄物処理対策を推進	1.36	2.90
環境美化	(8)環境美化推進	1.48	1.98
医療体制	(9)安心して暮らせる医療体制	0.12	3.45
福祉環境	(10)思いやりのある福祉環境	0.95	3. 27
健康づくり	(11) 健康づくりの推進	1.24	2.90
バリアフリー	(12) 心、情報、交通のバリアフリー	△ 0.21	2.9'
情報セキュリティ	(13) 高度情報化の推進と情報セキュリティの強化	△ 0.01	2.8
道路交通網	(14) 道路交通網の整備	△ 0.03	2.87
居住環境・住宅整備	(15) 居住環境・住宅整備	0.12	2.71
雪に強い	(16) 雪に強いまちづくり	0.15	3. 19
防災、気候変動	(17) 防災、気候変動対応	1. 23	2.9
既存建築	(18) 既存建築ストックの有効活用	△ 1.40	2.76
【夢を持ち郷土を愛する「ひと」づくり			
子育て環境	(19) 子育て環境の充実・維持	2.13	3. 18
安心環境	(20) 安心して子どもを産み育てられる環境	1.11	3. 29
子どもの育成	(21) 白鷹の子どもを育成	2.17	3. 10
地域・人を知る教育	(22) 地域・人を知る教育の推進	1.01	2. 39
質の高い教育	(23) 質の高い教育を推進	0. 26	2. 6
中等教育	(24) 中等教育等の充実	1. 27	2. 5
親教育	(25) 次代の親教育	△ 0.34	2. 53
文化芸術	(26) 文化芸術の振興	1.11	2. 13
	(27) スポーツの推進	0.70	2. 15
	(28) 生涯学習推進	1.96	2. 53
<u>土涯子自</u> UIJターン	(29) UIJターンの推進		
交流	(30) 交流の推進	△ 0.17 0.21	2. 66
企業・就業			2. 88
	(31) 企業・就業支援	△ 0.74	
地方創生	(32) 地方創生の推進	△ 0.71	2.88
【地域資源を活かし、魅力と活力にある		1 4 4 22	2 01
農業	(33) 農業	△ 0.22	2.85
林業	(34) 林業	0.31	2.55
商工業	(35) 商工業	△ 0.29	
食×観光	(36) 食×観光	0.70	2.30
労働環境	(37) 安心できる労働環境	△ 0.54	3.00
産業人材	(38) 産業人材の育成	△ 0.83	
産業創出	(39) 新たな産業の創出	△ 0.85	2.63
産業づくり	(40)若者が魅力を感じる産業づくり	△ 1.33	3. 0'
特産品開発	(41)豊かな資源を生かした特産品開発	0.10	1.90
6次産業	(42)6次産業化の推進	△ 0.46	2.57
【地域の個性を磨き、「連携す(つなが	T		
地域づくり	(43)特性を生かしたそれぞれの地域づくり	0.63	2.30
担い手育成	(44) 地域の担い手育成	0.20	2.5
コンパクト・プラス・ネットワーク	(45) コンパクト・プラス・ネットワーク	△ 0.16	2.5
広域連携	(46)広域連携(定住自立圏等)	△ 0.06	2.6
【基本計画の推進等】			
町民主体	(47)情報の共有と町民主体のまちづくり	0.63	2.5
民間活力	(48) 民間活力の活用と官民連携による新たな取組	△ 0.22	2.4
関係機関連携	(49) 国、県、関係市町との連携	△ 0.03	2.8
役場利便性	(50) 役場(出先機関含む)の利便性	1.32	2.9'
職員の対応	(51) 役場 (出先機関含む) 職員の対応	1.50	3.0
全体平均		0.50	2. 7!

②「満足度」と「重要度」の相関図

縦軸に「重要度」、横軸に「満足度」を取った相関図にまとめることにより、全体の施策の状況を見ることができます。特に図の左上の領域にある施策は、「満足度が低く、重要度は高い」と考えられ、今後改善が望まれる領域と考えられます。

【満足度と重要度の相関図】



「安心環境」や「子育て環境」などは、満足度、重要度ともに高く、今後も重点的に継続して施策を実施していくことが求められていることがわかります。

「産業づくり」などは、重要度は高いものの、満足度が低く、今後重点的に改善が求められている施策であることがわかります。

<豊かな自然に包まれ、だれもが住みよく、安心・やすらぎを感じる「まち」づくり>

「誰もが住みよく」大切だと思う。しかしこの言葉には未来の住人が含まれ、そちらの方が多いと 思います。高齢化が特に深刻な白鷹では選挙で多数派の高齢者の声が届き、他が犠牲になってい る。バランスよく考えてほしい

・空き家や空き地(田んぼ)を利用した子供向けイベント、子供向けの自然の中でのイベントで周辺市町からの集客を狙う・デマンド交通のデジタル予約。前日電話は不便。遠方家族でも予約できるシステムであれば利用者も増えるのでは。・除雪困っている人と手伝ってもいい人のマッチング。デジタル使ってマッチングできればいい。

287の整備

65歳以上の一人暮らしの除排雪支援、屋根の雪下ろしをしてほしい。空き家問題を解決したいが姉妹とは絶縁状態で何もできない。こういう人は他にもいる。弁護士などに相談しても難しいと。相談に乗るとか無理なら支援をしてほしい。維持するにも壊すにもお金がかかる。息子に迷惑はかけたくない

R348白鷹~山形間をトンネル化してほしい

イノシシ、熊の被害がこれ以上増えると深刻。長期の視点で取り組んだ方が良い。

お金を配るべき、若者にやさしくすべき

キャンプブームが続いているので自然を活かし山の上だけでなく下にも温泉等を作れば県外の人も来やすく、災害時にも活用できる。

キャンプ場整備、温泉施設の充実

コストコをつくる

コロナが5類になり定義がよくわからない。自分が老いて自分のことができなくなったら不安

ショートステイ、デイサービス等の福祉機能が縮小していると感じる。高齢化にあっては不安

スキー場のオフシーズンの活用。トレッキングやキャンプ施設として利用したり、花を植えたりして人が訪れる場所もある。

スピカの空きスペースがもったいない。本屋とかが入れば買い物に行きたくなる。

デマンドのコースに町立病院や荒砥のスーパーを経由するとより利便性が感じられる。

どれも重要。町長さんはじめ一生懸命やっていただけると思っている。

どんな活動をしているのかわからない。除雪に困った時に、どこに連絡すれば良いのかわからない。消防団は、酒飲み、旅行のイメージが強い。必要なの?と思う。後援会費も酒代なのかと思うと高いし不満。

なんといっても冬期間の生活に不安がある。地域によって除雪車の仕事具合が違っており、きれい にしてくれるところと雑なところがあり高齢化が進む中親切な除雪を望む

にこぽーとができてから保育園児までの子供は天気関係なく遊ぶ場所ができたが小学生以上になる と屋内で遊べる場所がなく町外に行ってそこでご飯も食べてしまうので、町内経済を回すという意 味でも小学生くらいまで遊べる施設は欲しい。旧小学校の改装とか。中学校入学時の制服や運動着 購入の補助をしてほしい

バスが高齢者には乗りにくい。山交バスも減る一方で足がない人間には大変

フラワー長井線存続のみの施策は時代遅れ。廃止に向けた準備をすぐにしてほしい。防災に関して町内外のボランティア活動家を利用し組織化してほしい

愛宕山をもっと有効活用できないか。遊歩道や散歩道整備

鮎貝方面の交通インフラが弱い

安心できることが住みよさ

安心はあるが住みよくはならない

移住者に対し家と仕事セットで提供できないと来てくれる人がいないと思う

移住者促進の為、300坪300万円プロジェクトを創設する。

一人ぐらしへの移動販売など充実してほしい。デマンドタクシーはもっともっと利用しやすい方法 で安価で設定してほしい。 一人暮らしが多くなってくる。互いに隣同士の声かけあい重要かと。また、多くの企業ありますが 賃金が異常に低いと思う。今後はもっと増額してもいいのでは。

何年か前に殺人事件があったところに暮らしているがそこは草が茂って車も放置されたまま。国道などは誰からも見えるので整備されるが、少し細道に入ると何とかならないのかな~と思う。自然豊かなところなので空き家が増えないでほしい

家に庭があって、自然と触れ合うと安らぎを感じるので、建物だけではなく、庭があるといい

花粉がでない森林整備

課題に対して優先順位をつけて取り組む。必ず期限を設定して進捗を管理していく。

貝生沼が冬場になると水が抜かれて魚がいなくなる。冬も水を入れて魚が住める環境をつくり、整備して自然公園にしてはどうか。夏は蛍が飛び、魚も泳ぎ、カモが羽を休めている

外国人労働者の住居を新築したわけだが、空き家を利用して双方の利益を画策する手立てはないのか。

観光業に力を入れる必要がある。町外から人を呼び込み、それをもてなす町民のやりがい、生きがいをつくる。特に自然を使った施設が重要。

気軽に使用できる屋内運動施設を作ってほしい

貴重な休日を消防団で奪われるのでこれからの若い人のためにも活動を軽減してほしい。今の状態では副業とも呼べないので団員報酬をなくして地域のための消防団にしてほしい

起業誘致、老若働く場所

居住環境、住宅整備、空き家の利活用や解体支援は力を入れてほしい

教育の森を何とかしてほしい。子どもが遊びに行きたくなる森にしてほしい。

勤め人はよいが、農に働いている老人が頑張っているでは町の夢が時間の問題だ。

空き家が増え不安。遠方の人にも通知してほしい。

空き家が崩れて景観が悪い。近隣の敷地に強風で残骸が飛んでくるなど対策が必要

空き家やポイ捨てが増えている。対応が難しくても行政が把握しているかどうかが重要ではない か。

空き家をもっと整備して、見てわかるようHPで公開する。入居しやすい環境づくり。新しい人が 町に住みやすいようにコミュニティーを作っていく。

空き家をリノベーションして移住者に貸す。使っていない土地に店を出してもらう

空き家を利用してシェアハウスにしたら若い人が住むかも

空き家対策、解体費の支援、税負担への支援

計画区分をどうやって推進するのか、一般町民にはわからない。わかりやすい状況を提示してほしい。町の広報もほとんど見ていない。

結婚に希望を持てる町にしてほしい。子どもに結婚・子育ては不幸だといわれ、返事に困っている。

県道の他は除雪が悪い。

見た目ではなく、本当に必要な所から整備してほしい。自分の生活や仕事に関わらない区分は成果や課題が見えにくい。

古い考えは他県から来た人には不快。

交通の不便をなくしてほしい

交通手段や店舗、働く場所などの選択肢が少ない。ガソリンなども今高値になっているのに、補助 もない。イベントも少なく、観光地としても成り立ってない。

公園整備に力を入れてほしい

公務員並みの会社、給料がもらえればいいが反対につぶれる会社もあり金銭面で不安有。年金だけでは贅沢もできない

耕作放棄地や森の手入れなどの不備で熊の出没が多くなってきているので、町民ができる事がないか、手入れをどうするか、知恵を出し合う必要があると思う。

荒れた畑を耕し、家庭菜園など楽しみたい人に募集して貸す。景観、環境よくなる。町民の心身の 健康にもつながる。

荒砥から朝日町の除雪を徹底してほしい。以前はひどかった。

高齢者だけでなく、若者も一緒に健康な体づくりをできる場かつ自由に使えるような設備があれば ありがたい。高齢者でも使える筋トレジム的な。

高齢者世帯で免許返納後の通院、買い物、交通手段の構築

国道348はカーブが多く時間がかかる。事故も起こりやすい。可能であれば直線的に改良して山形市とのアクセスを大幅に改善してほしい。通勤や物流が便利になるし医療機関も受診しやすくなる

国民年金で大変

再生可能エネルギーの推進を町づくりの最重要点にすべき。

再生可能エネルギーの積極的な推進、働く場の確保、賃金UPの手立

最上川河川もっと利用する

災害等に対して町民一人ひとりがどう動くか考える必然がある。防災の認識の強化というか

埼玉県の山口市のようにはなりたくなりので、外国人のための環境づくりはよく検討してほしい (安易に推進しないでほしい)。

山林の不法投棄を何とかしてほしい。

山林や田んぼが足かせになっている

蚕桑は公共交通機関がなく車が運転できなくなったら不安

子どもがいるのに公園等が少なすぎる

子どもが楽しめる場の充実、病児保育、DV被害者支援、お年寄りの交通手段の確保

子どもたちが安心して遊べる施設があると良い。白鷹中の下にある公園は車どおりが多く危険。

子どもたちや高齢の方々が車が無くても困らない生活ができるよう考えてほしいです。

子どもに手厚いのはいいことだと思うが、20代~30代の若者にとって、魅力ある職場環境が必要。

子どもはいないが母を守っていく。

子育て支援住宅の条件が夫婦に限定されていて、本当に支援が必要なのは、シングルマザー(ファザー)なのでは。

子育て支援住宅や町営住宅を空き家を活用してやればいいと思う。借り上げ社宅や住居手当の要領でできるだろうか。

自家用車の無い方が行政手続きをするとき役場と健康福祉センターと移動が大変。役場で完結してほしい。

若い人がいない、先を考えると周りにどれだけ人がいるか。難民受け入れとか検討してほしい 若い人たちが子育て、仕事がしやすいようにお願いします

若者を町にとどめる環境づくり。もっとみんなが周りのことを考える

首都圏だけではなく、人口の少ない地域への国ぐるみの計画がないと若い人口が減り、増える見込みのないところは、自然を守るための管理も手におえず荒廃していくと思われる。

住居の修理補助金がほしい

住民の高齢化が進む中、隣組の制度も限界に近いと思っています。移動販売車を導入して下さったのはよかったし、今後、もっと必要とされると思います。

獣害対策で包括的で責任ある体制を構築すべき

除雪の徹底

除雪支援はなぜ高齢者だけなのか。クマの対策が全く

小さな町でも人口が減るばかりなので箱モノの建築や新規の道路づくりは無駄遣いだと思います 小児科がない、ショートステイの枠がない

森林保全で杉の木ばかり植えるのはやめてほしい。広葉樹の利用価値が見直されてきているので、 広葉樹の植林を積極的にしてほしい

人口減少が進み地域を主体とした取り組みは難しくなっていく。強制のない自主参加型と業務(賃 金発生)の体制を作ってほしい

水道代が高い。若い人の交流ができる場がもっとあったらと思う。

生きづらい人々の意見を取り入れた町づくり

西廻りバイパスの早期実現

西廻り幹線道路より348整備

昔からの習わしで住みにくい

雪捨て場を増やす。整備する。交差点付近の街路樹、垣根を整備、剪定し、見通しを良くする。

雪対策として融雪溝を整備してほしい

全国の豊かなまちづくりを区長、町議、その他の方が視察していると思います。その良い面が白鷹 町に取入れてもよいものを活用してほしい

他県から来た人にも優しく、協力していく

多岐に及ぶ項目それぞれについて行政の各分掌、および議会はどう力点を置いて取り組んでいいか、どこに問題点があるのかPRを。町民に訴える工夫を一段と強めるべき

大雪時の除雪対策をお願いします。昨年12/24は道路に出れなく不安になりました。空き家も多く雪での倒壊、衛生的にも心配。

鷹山も町までの水洗トイレを、実施してほしいと思います。

誰でも家を継ぎ暮らしていける時代はどこにいったのか。国県町各団体が悪いのか、若者のいない世の中だが、悪いのか誤ったのか私達大人が生きづらい世の中にしたのだと思う。

誰もが住みたくなる街を目指すより、町の現状がどのような人に適した環境かを明確にして発信すべきでは。

誰もが住みよい、これからを担う若者の意見を重視していきたい

「誰もが住みよく」を掲げるには項目が少ない

地域で違うので一括りにせずに個別の評価と対応が必要

地区の防災訓練に参加しもう少し知識などが必要と感じた。役員が地区民や家庭に伝達できなければ機能しない。スポーツ、芸術の合宿所として提供できるよう整備してはどうか。パレス松風の活用など

地区内の過疎化について。柏原地区より奥は小学生がほとんどいない。コミセン小学校という文教施設と実際の鮎貝区民の暮らしに距離が生まれている。四季の郷に転居した若い世帯も多い。町外からの転入増が周辺開発目的だったと思うが、うまくいかないものだと思っている。

中山間地区についても考えてほしい。

中心部は整備が進んでいるが公園がない

仲町区は地域で道路整備をしているが、東根くらいからは歩道の雑草が目立つ。せめて国道くらい きれいにしたらと町から呼びかけてはどうか

町が率先して農作物や空き家、獣害対策をして被害に対する助成の確立。負の遺産化した田畑の税 金の見直し

町への要望が隣組長→町内長→区長という流れを改善してほしい

町営住宅の要件が緩い。ずっと町にいる人は大事にされず、結婚や家を買っても支援されない。一度出て戻ってきたり子育ての時だけ町に来ると大きな助成があるのがおかしい

町営住宅をもっと建築する。スタバやマック等若者が楽しめる施設がないとお年寄りばかりになる。除雪が下手だと事故に繋がる可能性がある。町長が満足する町づくりではだめ。

町外に勤務しており、町内の事はほとんどわからない。

町行政から安心安らぎを感じるまちづくりの提案があっただろうか。提案し座談会ではどうだろうか。

町産材の活用を進めながら、はげ山を防止して土砂災害を起さない山づくりが必要

町道の脇などに設置されている側溝が長年の使用により土砂などが入りすぎて水の流れがかなり悪 化しているところがあるので堆積物の除去作業等を推進していただきたい

町民が誰でも集まれる施設が増えるといい。カフェスペースもあるといい。長井市のくるんとのような。

町民全員がスポーツできる体育館、屋内グラウンドが欲しい

町立病院が閉院にならないこと

町立病院と総合病院の連携。デマンドの土日運行、時間延長、交通弱者への配慮

町立病院の正職の診療放射線技師が2枠に対して常に1枠空いている。土日、平日夜間の検査対応 不可(一人では対応しきれないよう)。この様な医療体制では安心して任せることは出来ない。

長井のような河川敷の整備

長井や山形まで通院するのは大変。

冬の除雪が遅いときがある。積雪が増えてからではなく事故防止のために早めの除雪をお願いします。

働く場所がなく若い人たちが離れていかない会社が必要だと思います。

道がきれいであること

道路が細いところの除雪を楽にしてもらいたい

道路の美化に小中学生を活用する

道路わきの花いっぱい運動に賞状などを出してコンクールのようにしたらもっと荒れ地が減ると思う

道路わきの草の整備が大事

道路沿いの植樹は大変良い。

道路交通網も大切だとは思いますが、長井線沿線や駅前の充実化を進めても良いと思います。

年々里山がなくなり荒れている。対策すべき

年末年始に休みの人や受験生が使えない図書館とは。古い本も大切にされていないと感じた。

農業する人が少なくなっているので改善すること

農地が荒れ、獣が増えてきて気軽に畑に行けなくなってしまいます。木の間伐や草刈りを徹底的に してほしい

白光園ショートステイが閉鎖になったのが残念。本人のためにも家族のためにも安心して預けられる場所が必要

白鷹大橋から東側の主要直線道路の道中が狭く、特に冬の歩行が危険です。通学路にもなっていますので早急の拡張をお願いしたい。交通量も多い(朝夕特に)。

白鷹大橋周辺整備が止まっていて心配

白鷹町立病院の救急の対応がよくなく、町唯一の救急という責務を果たしていないと感じる。簡単に置総にいってくださいと言わないでもらいたい。

美化推進のため、コンテスト等を行う。

病院が町立病院しかなく個人の先生も高齢化し土日や夜間受診できない

不要な建物、維持が困難な建物は可能なうちに撤去し、負担を軽減すべき

並木があったら素敵だと思う

豊かな自然に手をかけないのではなく手をかけて整備

豊かな自然は都会に住んでいる人は感じるかもしれませんが、毎日暮らしているとただの草藪に見える。

本当に白鷹が好きな若者をつくるにはどうするか。町の魅力とは何か、今の流れにむやみに乗らず考えること。

民間に頼めるところは民間に任せる。一部の企業だけではなく小さいところも使い企業としても発 展していく循環型社会の形成

目視でも空き家がかなりある。所有者探しに力を入れたりリノベーションをして売りに出したりすれば、町外の人にも魅力的だと思う

目的を持って植えられた杉の木が資源として利用されるのは良いことだと感じる。場合によっては他人の家に倒れたり、山中の見えないところで水を止めたり、マイナス要素のイメージが強い杉林が管理されると実感されることは「自然」「安心」などのキーワードに通じると思う。

野菜、果物が育つ豊かな町になってほしい。天然の鮎が多く獲れる町になってほしい。ブラックロングバス大会をしてほしい。

用水地にふたをして消火栓に変えてほしい。維持するにお金がかかる

用水地のごみ上げが高齢化で大変。土を捨てる場所もない。水道水による貯水槽にしてほしい

里山づくり、維持などの問題

隣組でも2軒が空き家になり、年々壊れていく。樹木も大きくなり、道路や畑まで侵入してきているので困っている。

老人が多くなっているので老人が集まれる喫茶店などほしい

老人にやさしいまちづくり。老人の家の前に雪が押されている現状は厳しすぎる。

特になし

<夢を持ち郷土を愛する「ひと」づくり>

「ひとづくり」の言葉自体に抵抗がある。夢も人も作るものではないはずだからです。一人ひとりをそのままに受け入れてはぐくむ土台が文化になく、押しつけがましいので夢も郷土愛も育たないのではと思います

「白鷹スタンダード」の内容がよくわからない。教職員の多忙化を解消するため部活動指導員の増加、学習支援員へ手厚い補償をお願いしたい。高校の特色ある教育のため、高校魅力化、推進課を役場に作ってはどうか。移住者の観点を活かしたまちづくりにしてほしい。

・若鮎マラソン、出展ブース増やす。待ち時間で白鷹町を知れる工夫。走らなくても参加できる、応援できるような環境整備は必要・町外の子育て世代から人気の東陽の里、スポーツ公園を使ったイベント。部活で来町している保護者は多い。・子育て(学校)のなかで郷土に関する取組が多く嬉しい。郷土愛が醸成されてきている。・移住者へのPRも兼ねてHPの一新。最初の画面で心をつかむような。ふるさと納税へも影響。

PDCAを回す

PR動画づくり、イメージ戦略

いつも子育て支援に尽力いただいていると思う。しかしこの世の中のグローバル化や自分を前面に出しての自由…何かすごくちぐはぐしたところがすごく違和感。子供のころからよく考える力と我慢、相手の立場に立って考える教育が大事だなあと思う。どうすれば人を育てられるか私も知りたい

インバウンドの環境、移民受け入れ

キャリア教育に目を向け、地域の人々の関わりを持ちたい

これからは人を住まわせるのは最重要課題。人を受け入れうまく融合できる仕組み作りをしてほしい

スクールバスの停留所が少なすぎてスクールバスの意味がない

スポーツ公園をもっと活気づけてほしい。センター宿泊施設の改修が必要でないですか。

スポーツ施設の老朽化が心配。

とにかく住みづらい。

まずは人を増やさないと

もっと多様性を認め合える教育をしてほしい。近所の目や田舎特有の閉鎖感を強く感じる。教育の場に、民間企業経験のある人や町の企業で働く人を参加させてほしい。学校の先生しかしたことがない人が教育することが怖い。

ランドセル=らんどーる一択は迷惑千万。その分祝い金を出した方がいい。婚活=若者だけでなく 40代以上にも力を入れてほしい。白鷹スタンダード⇒聞いたことがない

リーダーの育成。

安全安心の町に住みたいです

移住者との交流は地区長に任せると温度差が生じる。行政も交えた交流の場を構築すべき。歓迎の意志を伝えることが欠けている。

移住者にお金を使いすぎないでほしい。質の高い教育をしても生かす場がない。

移住者への担当者にもっと「よりそえる」心をお願いしたい。

移住者を増やすのが重要。移住者には空き家を無料で貸し出すとかお願いしたい。

育成後の人財の活用にも重点を置いて施策を展開する必要がある

横のつながりは大切。それぞれ考えは違っても、話し合える仲間であってほしい

屋内運動場やトレーニングルームを増やしてほしい。

温故知新の精神と、人とのつながりを大切にした人づくりを。

家計に苦しい時代にランドセルの贈呈は大変助かる。人口減少、流出には訳がある。このご時世で 人口増加しているところもあるのでマネも必要。

過去の宝物よりも10年後・20年後を見据えた明確なビジョンと進めるための仕組みづくりは大切だと思います。

外国からおいでの人の労働環境の改善や地域との交流を図るべき

外国人等をどんどん受け入れ、グローバルなまちづくりをしてほしい。英語教育にも力をいれてほ しい。

機会の提供は大事だが結局は人の気持ち次第なので過大な支援はすべきでない

気軽に運動できる施設が欲しい。疲れたら休めるカフェなども。スポーツを通して交流の場になる。

休耕地が増えている。農業普及員に指導してもらい、農作物を栽培し加工して販売するシステムが 構築できれば高齢者の生きがい作りもできる。

休日の人足が多すぎる。地域によって回数や程度に差があるのもおかしい。出ないとお金を取られる。他から来る人は移住しにくい。前からしているからでは住みにくさが増大している

教育の中で学校や親が子供に郷土愛を教えることで、大人になった時に帰ってきたい町になる。

教員の省力化を町は推進しているとは思えない

郷土を愛するというが白鷹町と一発でわかるものをもっとアピールすべき。伝わってこない。

凝り固まった田舎の偏見、思い込みをいかに緩和するか。

空き家などを利用して子供から大人まで楽しめる娯楽広場あるといいのでは

結婚への後押しは何かないか

憲法の社会権や自分の行使できる権利を知らない人が多いので、知る機会を作って知識として定着できるようにしてほしい

県外で働いている息子が男ばかりの会社で出会いがないと。戻ってきても今の仕事に関連する仕事はない。ここにも働く場所と出会いがあればいいのに。

県外町外への就職が多く、わが子にも町内でと言える環境がない

荒高、白専は子供たちの居場所として重要だからこそ企業などとつないで子供たちを導いてほしい

荒砥高校の学力向上。進学にも力を入れていることをもっと発信する

行政サービスにはいろんな施策等があるが基本は人づくり。高齢者の健康寿命を高めることがいわれるが、人間本来の自然治癒力を高めること。真の健康づくりとは何なのか問いかけることが必要。

行政は主催者側ではなく民間が自発しやすい環境の整備に注力すべき。自発が起こるのは若い力で、高齢者は若者を支えてこそ町に活気が出るのでは。

行政や地域が取り組む必要はない

高校を卒業するとほぼ進学して外に行ってしまう。働ける企業がないからか。白鷹町ではどんなことして活性化しているのか。婚活などで人を増やせないか。

高畠のもっくるに行きました。廃校を使った素敵な遊技場でした

今の町民自体には何も問題ないと感じるが、もっと他から人を入れないと若い世代が増えない。若い世代が出ていかないことに加えて、取り込める何かがあれば良いと考える。

婚活支援がまだまだだと思う。移住は企業を誘致しないと進まないと思う

婚活支援について、若い人たちはアプリを使って出会いを求めている時代なので、町でアプリを活用し安全に出会いを求められたらと思います。(県外から人が呼べたら)

根本は家庭が第一。心を育み成長させる根源は親。その親の考えしつけに合致させる助けとなるものが学校や社会、地域、教育の進め方、個人を取り巻く環境、施設環境ではないか。他人への接し 方も大事

最低賃金も地域格差があり、進学すると若い人はもうほとんど残らない。もっと何か町全体で魅力を発信できるものがあればいい。東北でも他県の方が、町並みにも歩きたくなる魅力があり、職や手仕事等の特色があると思う。

産む環境に支援がない。一時的支援ではなく、継続的支援をする。一定の年齢までオムツ、ごみ袋をあげる。(介護の方にも)

産婦人科、小児科もなく町立病院で小児の診察を断るのは不信しかない。診療科目も少なく命の危険を感じる。どこが切れ目のない支援ですか?十王の資料館的な箱は税金の無駄

仕事が限られ子どもたちにここで暮らしてほしいと思えない

仕事とは収入源、生きがい、時間つぶしなどの何を意味するのか明示しながら推進して頂きたい。

子どもたちがのびのびと遊べる施設があるのがいいです

子どもに関わる教育医療等すべてを原則無償化にし、日本一子育てしやすい町を実現する。

子どもに対する政策はされているのかなと思う。 20代~50代の郷土に対する関心が少ないよう に感じるのでその年代に向けたことがあればいいのではないか。

子どもの数が減り、登下校の風景を見ても安全管理面の不安がある。完全スクールバス通学にした方がリスク回避できるのでは。保護者負担ももちろん必要。送迎バスで働き口を作る。

子ども減少、働く場所が少ない、外から来る人も少ない

子育て、出産以前の出会いの場(婚活パーティーなど)をもっと作っていただいて独身者がパートナーを見つけて結婚、子育てに結びつくように最初の出会いのイベントを増やしてほしい

子育て支援は非常に助かっているが高校生~社会人になるまでが一番大変ではないかと思う。そちらの支援に力を入れてほしい。保育園、こども園の職員不足でこの取り組みはいつか崩壊しませんか?バランスよく推進しほしいです。

子供を産むための支援よりも、育てやすい、魅力あるまちづくりが必要。教育面の充実、スポーツ 面での充実など、施設、機会をつくる必要性

子供達の体力低下について不安を感じます。スポ少の指導者への支援や、体力づくりができる環境を増やしてほしいです。活動を何かされているのでしたら、もう少し告知や活動にチカラを入れて活性化してほしい。

獅子連等の備品を支援してほしい。

質の高い教育…小学校より英語教育が非常に大切ではないかと思う。国際化の教育が大切である。 日本人は日本語しか話せない。外国に行くと3か国語を話せる方が数多くいる。せめて小学校から 英語くらいは話せるように

質の高い教育を実現するためには、何を優先すべきか再考する必要がある。各種行事やスポーツ等の大会は各市町の動向を踏まえ、抜本的に見直す必要がある。

若い人たちが将来に明るい希望の持てる環境を作ることがまず大切。特に近隣で就労できることが 大事かと思う。いい就労環境がないとライフプランも立てられない。若い人が郷土で生活が立てら れることが大事で前提だと思う

若い人には、良いところを見つけて育てることが重要。

若い世代が関心、興味を持ってくれるような方策の機会を多く持つのがいいと考える

若者が帰ってきたくなる、住みたくなる、結婚したくなる、子供が欲しくなる仕組みをつくる

若者が定着できる企業の誘致

若者の移住にだけ焦点を当てない。50~60代の方で町出身で都会に住んでいる方は多い。地元に戻りやすくするような施策はないか。例えば税の優遇など。出身者であれば白鷹への愛もあるのではないか。若者世代へは空き家の斡旋などをして、経済的に配慮する。

就労環境の改善が地元を愛する若者を増やす

就労環境の点で時給が低いので改善してほしい。若い人たちが夢を持てない環境にあるという意見 が多い

出産、子育てのサポートをしないと移住する人は少ない。

奨学金や就職、住居、税金軽減など戻ってきやすい制度

小児科がないことは痛手。子育て支援・福祉サービスの充実は感じられる。

小中高で良い教育や夢をもっても、郷土で活躍する場がなければ意味はなく、若者がどんどん離れていくのが現状。地方創生するならば、働く場所をつくり、人をたくさん呼ぶ。移住してもらうことがスタート。

少子化対策 (婚活対策)

人づくりは若者を縛り付けるのではなく外にいる人をいかに戻すか

人づくりは非常に大事だと思うので次世代の人たちが離れていくのは悲しい。

人とのかかわりを学ぶ幼児教育(家庭も含め心の育成と愛着の形成)の在り方を具現化へ

人や周囲に左右されず、一人静かに暮らしたい。

人を信じ、人の気持ちを受け止めることをやっていれば自然と人はついてくる。

人口減の波は止められない

人口減少より将来が心配

人口増加に力をいれるべき。職場があれば若者が定着する。テレワークの職業の移住者を受け入れる。

図書館に白鷹出身の漫画家のコーナーを作ってほしい

他地域より特化した子育て支援

大まかな内容で評価と言われてもできない。一つも知らない。

地域の拠点として小学校の役割は大きい。財政的には非合理でも存在することが大切。

地域格差があり、荒砥以外は不満が多い。一過性ではない政策が必要。

中学校のカバンは贈呈しないのか。

町をもっと愛してほしいなら町長を辞させるべき。荒高や白専に関してはどうでもいい。

町駅伝の大型化

町駅伝の役員が大変。若鮎マラソンのように個人参加にしてはどうか。

町職員のみなさんのメンタルケアなど仕事に専念できる環境づくりをお願いします。白鷹スタンダードは検証が必要。

町内の中での人との交流の場が多くあった方が子供にも良い影響を与えていくと思う。

長井市に比べると全体的に取組が弱いと感じる

定着したイベントでの集客「○○があるから白鷹町に行こう」といえるイベントを作る。

天童市や東根市の人口増加に比べて人が減っているのはなぜか考えてほしい。子育てしやすくないから。町内はベビー用品や子供服を売っている場所がない。

転入してくる人について、特に空き家バンクを使ってくる人についてもっと条件をつける(隣組に入る、地域の活動にできる限り参加する)。引っ越しされてからとんでもない人だったという例があり近隣住民が迷惑していて行政に言っても解決にならなかった。危険にさらされている

土地の有効活用。大石田の自然薯のような有名なものが欲しい。

東北芸高大生などにアトリエとして空き家を貸し出し若者とその周りの人たちとのつながりを持つ のはどうでしょう。関係人口を増やす

働きやすい環境づくり。今まで以上に慈しみあえる人間関係が大切に思う

働く場所がないため、大学を卒業しても都会に就職せざるを得ない。教育基金を創設して、帰って きた人が町内に就職した際に支援。

働く場所をつくる(役場職員を今の3倍にする、給料は少なくなくなるかも)

独自性のある計画策定を望む

年齢的に今では理想だけでは言えない

農業の企業化をすすめ、収入アップにつながるよう整えてほしい。

白鷹スタンダードに強烈な抵抗感を持つ。なぜ、子どもや若い人たちの育ちや生き方を枠にはめようとするのか。郷土を愛するというのは、個々人が結果的に持つ感情であって、なぜそれを目的化しようとするのか理解できない。

白鷹でなく「しらたか」の理解を深める機会を多く

白鷹でなければ学べない専門学校や資格の取れる自己啓発のできる町が理想です。

白鷹にはおいしい農産物がたくさんあるので魅力をもっとアピールしてふるさと納税の増額につな げてはどうか。大手サイトを使ったり魅力の伝わるデザインを業者に委託するとか

白鷹町の事を白鷹町の人が一番わかっていない。

部活動の自由化が始まるようだが、各部活の指導者が確保できていない状況で、どんどん話だけが 進んでいて不安。部活は体を動かすだけではなく、関わり方やコミュニケーションを学ぶ大切な 場

風習を押し付けるのをやめてほしい

文化の継承への支援

偏見だが、核家族より、おじいちゃんおばあちゃんがいる家庭の子どもの方が落ち着いている。多分食だと思う。親も忙しくなっている。可能であれば地区単位の公民館で子ども食堂をしてみたい。一緒に調理するのも教育。

亡くなる人の人数が圧倒的に多い。税金収入などが減り回っていかななくなる。大企業誘致など発 展も必要。

夢とか愛とかは心象の事柄であるので、行政が立ち入ることが慎重でありたい。

戻ってきたいと思える郷土を見せないとダメ。一部だけのパフォーマンスではなく学校を巻き込む 役場や図書館は使いやすく良い。小児科が近くにあれば助かる。

特になし

<地域資源を活かし、魅力と活力にあふれる「しごと」づくり>

- ・各地域の歴史や文化を生かして観光に活かす。・里山の整理をして多面的に活用。
- ・荒砥高生、白鷹中生、専修学校、障がい者施設等からアイディアを募集し商品化。商品化された経験は大きい。ニーズにあったものの商品化でより広まる。・紅花は他市町に負けない取組を。紅花まつりだけど紅花はどこという声を毎年耳にする。観賞用に道路沿いにもっと整備する。他自治体では独居高齢者宅に一本ずつ配り声掛けという取組もある。・牛乳や出荷できない果物等を加工し商品化。生産者の収入にもつながるような仕組み。米粉そば粉などでも。・中央公民館、コミセン、小学校単位にデジタル機器(タブレット)設置。「調べる」「一緒に考える環境を整備」・大手企業に働きかけてサテライトオフィスとして町を活用してもらう。
- 65歳を超えても働ける場所があればいいのに。

6次産業というが個人でやるメリットがない。企業とタイアップし地場産のメリットを生かさない と収益増にはならない

B級グルメの発掘。白鷹でもリニューアルした温泉施設がほしい

Jクレジット制度について、固定資産税を払っているのみ、もっと活用できれば良い。熊対策にもなる。

PDCAを回す

シラタカレッドはなぜそんなに力を入れるのかわからない。そもそもマーケットがどれほどのものなのか。伝統工芸は大切だが、CMするほどのものではない。CMしたからといって売れるものではない。

とにかく仕事(産業)が充実し、必要な収入を得られることがマストだと思う。どんな風な生活をするにしても。

どりいむ農園に出展している個人の方をもっと前面に出して商品の魅力を伝えてほしい。飾っているだけで良さが伝わってこないのでもったいない

パレス松風について、温泉利用料に町民価格を設定してください。

ブラックな会社が多すぎるので、労基の見回りを徹底してほしい。観光関係はもっと柔軟な方に関わってもらえたら何か変わるのではないかと思います。

マルチワークに興味がある。早期退職しいろいろな仕事をやってみたい人や副業したい人に対応できるといい。マルチワーク事業団体に雇用され社会保険で安定的に働きたい。ただ支給が安いと人手は確保できなそう。常勤でなくても夏休みの大学生などという方法もある。学生にとっては貴重な経験。

もっと若者の意見や考え方を聞く機会や場面が多くあるべき。いろんな会議に出るが、男性がほとんど。女性を計画段階から活かし意見を聞くべき

もっと人の集まるまちづくりを工夫してほしい。店もなくなり活気がなくなっている

移動がちょうどいいということはその時間で逆に来てもらうことができるということ。鮎まつりと同規模のイベントやこれがあるみたいなものがつくれないか。

一次産業の推進。休耕地の利用

温泉施設に積極的に投資して外部から人を呼びトレーニング施設などをつける

穏やかな町に住みたいです

過疎、限界集落はもう避けられない。農林業の保全は大切だが人材育成、産業の創出は民間に任せ るべき

各産業が盛り上がっているか見えにくいので評価しにくい。大型特殊といったライセンスをもった 人材不足が課題。資格取得支援を希望。プロ集団白鷹町。

各専門職の方がもっと勉強してほしい。(JA、町職員、各部門の方)目指すものをはっきりしてほしい

観光業の充実が必要。農業体験型宿泊施設の設置。

企業の誘致 (IT、農産加工など)

既存の農業分野を衰退させてない方策が重要

起業支援があるといい。場所の提供。若者には仕事の幅をもたせたい

休耕地の積極的活用の検討

休耕田は処分する

芸高大生などを活用しきれていない

限られた資源を使う必要はない。リモートワークなど広い視野を持ち、必ずしも白鷹で産業を作り 出す必要はない

限られた予算なのではっきりと一本化して強力に進める必要がある

古民家のリノベーションが注目されているのでしたらいいと思う。カフェやお酒を飲める場所が欲しい

雇用を生まない箱ばかり建てるのではなく、今いる中高生が白鷹町で働きたくなるようなモノを作ってほしい。

工業団地の道が暗く危険。若者が魅力を感じるではなく、すべての人がだと思う。「紅」って「くれない」ですよね。「RED」って「赤」ですから「赤」と「紅」は別物だと思う

紅 (イメージ) 推進は基幹産業にはなり得ず、町のイメージアップや認知度向上の手段である。中央からの人的流入に力点を置くべき。

紅花づくりはますます人がいなくなる。町としてももっと力を入れるとか、農業法人に任せるとか しないとダメ

紅花については労が多く今後のPR開発に疑問を感じる。ボランティア程度での継続は難しいのでは。紅花をしているほかの市町より知名度が低い。他にも特産はあり、マスクメロンはR1なのに地元からの認知がない。他にもたくさんあるので柔軟なPRや戦略をしてほしい

紅花に関するツアーを組む

紅花に未来を感じない。土手に桜を植えて西山のコントラストで観光スポットをつくる

紅花の商品みたが、高くておどろいた。白鷹=紅花としているが、河北町のパクリにしか思えない。紅花まつりは人がいない。役員はグチを言っているのが現実。紅花では若い人の活気は出ない。大江や長井の花火を参考にしては。

紅花や紬、農産物などよりアピールすることで認知度を上げてほしい。

紅花生産量日本一をもっとアピールすべき。県内でも他のアピールに負けている

紅花畑はただ町の中にあるだけできれいでもないし観光資源になると思えない。あれで自慢できると思えないし見に来た人に失礼。冬の雪あかりも行っても駐車できない、何一つ楽しめなかった。 人員も少ないしやる意味がない

高校卒業後地元に若者が残らない。残っていても結婚しないので子どもが年々減っていく。

最上川を通じ発展したのが長井、白鷹のカイコ、紅花、絹。なぜ今紅花なのか。大切なのは販路では。そこから逆算するのが温故知新ではないですか。

作り手がいない田んぼになぜお金を払って維持しなければならないのか。悩んでストレスでしかない。これから不安でこの町から出たいくらい。働き方改革、実現できるはずがない。働き手不足。

山林の利用促進

仕事についての発信が必要、県外からも人が来れるような仕組みと宣伝を増やし、他からの居住に 対する取組を入れる

次世代の人が白鷹に残って仕事をしたいと思うようなヒントをいっぱい作ってほしい

示されている項目の多くの分野についてお題目が先行気味で永続的な活力が増すようにはなかなか 思われない。毎月あるいは年の前期、後期ごとに具体的な目標を掲げて成果を吟味、反省しながら 積み上げる姿勢が大事。

若い人が働きやすい環境だけではなく、好きなことができないと続けられない。遊べるところがあるのか。

若者が地元に残ったり、帰ってきて働ける場の確保。

若者が働きたいと思える仕事が少ない。研修制度、資格の支援が足りない。

若者だけとは限らない

若者の交流を増やす。海外交流を若者にさせるべき。

若者の生活が安定し、町の自然を生かした産業があれば定住者が増えるのでは

若者も高齢者もいきいきと働ける社会が理想

就農者を増やす。教育で農業のすごさを伝える。

住民が評価するのは難しい

女性や障がい者など個人の尊厳が守られる職場づくり意識づくりが進むことを望む。

商品開発とともに贈答用セットして拡大してはどうか。パッケージなども含めて開発をする。最近 は特に大学や高校とコラボしているところもあるので若い人の考えを取り入れてもいいと思う 小さな農家も生き残れる策が必要。集積、集約だけではなく。機械が高くて買い替えができない農家もあり存続できずやめるといってます。

新しい商品を開発しても情報の発信、宣伝、PRをしないと地元の人でも知らな商品や行事などがある

深山和紙職人の育成。和紙が売れれば深山が潤う仕組みづくり。地区民の意欲が高まり利益が還元されるサイクルにしてほしい

人財やボランティア募集の広告を出す

西側にもどりいむ農園のような施設がほしい。

大きな規模の工場、企業を誘致していかなければ、働く場所がなく、外へ出て行ってしまう。若者 も戻ってこなければ、入っても来ない。

大学、高校卒業の就職先の確保

大型商業施設を作る。

担い手がいないことが大きな問題。施設や場所をつくっても、継続できないとやる人もいなくなっていく。

地域、食文化を学ぶのはいいがそのために使用する施設の条件が細かすぎて使いづらい

地域の多くの人が関わることができる農業や商業等の新たなやり方の実現。生活に関わる食糧やエネルギーを町内で供給できる体制を作る。

地域資源を活かすためには交通が必要。山形の友人は白鷹に行くのは怖いと言っている

地域資源を生かし魅力と活力あふれるまちづくりを希望します

地元の商店の存続が重要。

中山スキー場もっとアピールしてほしい

町ならではの魅力をアピールする必要。若者が根付くには働き場を探せるのが重要

町外イベント等でのPRが不足。モンテディオの試合会場では、各市町村でブースを出してPRしている。

町内に埋もれている「引きこもり」の人や働いていない若者に出てきてもらい、日の目を浴びて輝いてほしい。

町内出身者に協力を求めて、企業紹介、企業立地。

定着した仕事、長く勤められる環境が大事だ。

提案型的なものが少ない、若者が選べる魅力的な仕事を積極的に提案していく仕組み

特産品は町民にも必要不可欠となるものだといいと思う

特産品開発などしているがパッとしない。もっと工夫してレベルアップしてほしい

内容が分かる人がどれだけいるのか。年寄はそんなに大きなことは考えていない。

日本の紅、SHIRATAKAREDについては、ごく一部の人たちの中でことが進んでいる気が します。いつの間にか紅になったんだなぁみたいな。

日本の紅をつくる町がピンとこない。赤い商品やPRの赤い旗が増えるのが嫌だと思ってみています。

日本の赤(あか)をつくる町はイメージがない。日本の紅(ベニ)をつくる町にすべき。赤スモモワインはやめた方が良い。

農業(白鷹町)の活動を広めて、米を食べる習慣や食べる量が増えるような活動はできないでしょうか。

農業などの一次産業で十分暮らしていけるような仕組みづくり

農業は大事だがそれだけにこだわらない産業の活性化

白鷹には昔からの仕事、工場がたくさんあります。気軽に体験できるようにすれば人が来るのでは 白鷹の豊かな資源として誇れるものに何があるのか。地域を挙げて守り育て発展させなければ誇れ るものとして育たない。個人産業では難しいのでは。

白鷹はそばが美味しいがそばだけだと客は限られる。そばとセットでお得にして「おもうまい店」の取材が来るといい。

夫婦共、町外勤務で子供も県外にいる。仕事の選択が少ない。

魅力ある仕事、定着したいと思える仕事

名物をもっと作る。紅花ソフトクリーム、だんご、パフェなど果樹生産者と提携してカフェをつくる

和紙、牛乳製品、木材などもっと展開できないか。

特になし

<地域の個性を磨き、「連携す(つなが)る」まちづくり>

・集落、区、コミセン、町それぞれでやっているがもう少し集約できないか。人が分散し効果が薄れている気がする・生活のコンパクト化を考えれば町内は選択肢にない。それよりは交通機関の整備を要望する

インターネットを使って町全体のネットワークをつくる

お互いの考え方の違いを認め合った上でつながりを目指しては。

コミセンが地域だけの特色になり町全体でのつながりが生み出せていない

コミセンはもっと若い人中心でやってほしい。地域おこし協力隊の方と一回も会ったことがない

コミセンは計画成果ありきで動員で行っている感が強い。外部とのタイアップとか、違うやり方を 模索しては。

コミセン事業がマンネリ化している。事務局の新陳代謝が必要。

コミセン職員、地域おこし協力隊と町の連携を密に、ていねいにしてほしい。外からの意見を大切 に。コミセン職員の離職も気になります

コミュニティセンターでの行事について、町の協力が足りなすぎる。地区に任せすぎるのではないか。

コンパクト+ネットワークは本当に重要な項目だと思う。どこで生き、暮らすかは一人ひとりの選択だが、ライフラインや行政サービスへのアクセスに格差が生じることが無いようにしたい。自己選択=自己責任ではないし、さまざま事情で現状の選択をせざるを得ない場合もある。限られた財源の中で、これからも支えていくような白鷹町がいいなと思う。

コンパクトシティ化は自然となりつつある部分もありますが、町としても加速させるべく、力をいれてほしい

コンパクトなまちづくりにより、家と家が近く都市のようになったら田舎に住む意味がない。馬で移動するくらいの方が魅力的だと。

シャッター街の復活はできないか。商店街の一角に駐車場を設定しその商店街全体をスーパーのようにして個人商店の復活が図れないか。商店主には移住者を期待してもいいのでは

せっかくの町内の一番の観光の顔のフラワー長井線。景観を大事にしてほしい。巨大倉庫は残念でした。協力隊の皆さんこそ固定概念がなく柔軟な考えを持っていると思うので、観光協会、商工課に加勢してもらいたい

つながりが強すぎて巻き込まれるのが嫌

どんな活動をしているのか詳しく知れるようにしてほしいです。

まちづくりの前に財政を立て直し、若者が多くなる町づくりが必要。雇用を増やし、税収を上げ、 子育に費用がかからない支援のバックアップをして人口を増やす。医療を充実。安心安全なまちづくりこそ町を維持することが必要。

鮎貝にチェーン店かヨークタウンが欲しい

鮎貝のコンビニタダ貸しは問題

鮎貝地区にガソリンスタンドを

運転ができないと老後が不安。デマンド等が気になるが、500円以上のため、気軽に安く利用できるような、今より生活しやすくなればいい(山形市のべにちゃんバス)

会議に参加したことはあるが何のための会議なのかわからない

格別なし。なんでも値上がりしており、支援をお願いしたい。子どもがいる家庭だけでなく、高齢 夫婦世帯ももっと手厚い支援を。

顔と顔を合わせ話していくことが大切

協力なくしては何もできない。やはり人を育てることは大切ですね。

現状のコミセンのやり方(事務局とボランティア任せ)では、今以上の活動は難しい。コミセンとなった目的を改めて考え、それに合った体制づくりが必要。

個人商店の高齢化で閉店などしているが、空き店舗を使って休憩スペースや高齢者のたまり場を作り、とじこもりを解消してほしい。

広域連携で置賜とだけでなく朝日や大江と連携する

紅花の町という割に紅花のPRが足りないし、一部の人の関わりという感がある。もっと生かす方法を探る必要がある。

高玉芝居は小学生にも教え、蚕桑だけでなく、他の小学校でも教えたり披露をする。お金の面でも 支援をする。

今までも学校で地域のふるさと学習とかしていると思うが、これからますます探求型学習になっていくと思うので、大人もいっしょになって勉強していく必要があると思う。

最重点は教育国力が低下する今こそ国政、行政の政治の在り方を見直すべき

斎灯焼や運動会などコロナを経て縮小している。身近なつながりの維持のためにも町でも斎灯焼き をしてほしい

資源を有効に使うため、個性に特化した街づくりを要請する。他と同じ取り組みは疲弊する。

車の免許を返納した人が快適に出かけられる交通整備を期待します。

住んでいる地域によって、コミュニティの温度差が大きい。

情報量が莫大な現在、発信はしているがHPや町報など出すだけで届いているかが問題。お知らせする機会を作る、増やす

人的インテリジェンスの流入。その人が核となり、中央行政、企業との結び付けを考えて行く。

生鮮食品が少なく価格が高く生きづらい

西置賜での連携では力不足のような…

他国の市との姉妹都市。観光の受け入れとホームステイ。ほかの人々が体で感じる白鷹の充実。

体育施設等、町単独での設置・運営は難しくなる。近隣市町と、どこかに集中するのではなく、分散させて、計画して行くことが必要になろう(プール・体育館・諸グラウンド等)

地域おこし協力隊(経験者)との交流が図れない。積極的に誘うべきか踏み込めない。若者が減っているのに地域の行事役員数は依然と同じ。年配者は役員をしたので若者におろしてくる。若者がいくつも役をもち、不満に思っている。時代に応じて変化すべき。

地域おこし協力隊は継続的な地域おこしにはなってない。ぽつぽつと生まれては消えの税の無駄。そのお金を企業誘致に使った方がいい。

地域づくりと広域連携は全く別物だと思う。担い手はそもそも人がいないところから話は始まるし、いずれはより強く連携していくと思われる広域的な部分では、早め早めの対応をして、未来を見据えた政策をしてほしい。

地域づくりにはコミュニティの若返りが必要。なんでも長年居座るのはマイナス面しか見えてこない。本人が気付かないことがマイナス。

地域の個性として白鷹町はきれいな町だと思う。都会の人が見たときにキレイと思ってもらえるよう、景観を維持してもらいたいです。除草剤ではなく草刈りをしてほしい。

地域の個性を守ろうとする仕事に就ける環境づくり

地域の個性を生かすより今何が課題なのかという柔軟な考えが必要ではないか

地域の担い手として、50代~70代をイメージしがちな気がしますが、30代~40代の子育て世代も視野にいれたアプローチがあればいい。子育てを通じて「私も何かできたらいいな」と思うようになりましたが、自分では動けず。行政やコミセンからの要請があれば何かの取組に参加しやすい。私のように何かしたいけどどうやればいいかわからない人は意外と多いと思う、自分の空き時間を使って、地域と繋がれる仕組みがあれば嬉しい。

地域の連携を大切にする事で迷惑を受ける人がいる事も事実です。活動等を行なう時は、地区・部落単位ではなく、やりたい人、協力したい人だけの活動にすべきです。

地域毎も大事だが町全体の取組みに心地よく参加出来る機会を作って、続けて欲しい。「老人も気軽に参加出来るこれからが必要」

地区公民館時代のように幅広い年代でのテーマ別の研修や話し合いが今のコミセンにも必要。コミセンの仕事は何だろうか。

地場産業のPR

置賜の関係も大切だと思うが、白鷹町は国道348号で山形市に近いことを打ち出しても良い。

置賜定住自立圏共生ビジョンは中心市の米沢を核に展開するのは不満がある。他地域との連携も図るべき。

町が活動していることがあまりみえてこない。もう少しわかりやすくしてほしい。

町の活動が町報だけでは伝わらない。定期的にイベント等を表にする。

町職員自体が白鷹に住んで地域の役割を担わないといけないのでは。町外に住むのはひどい

町民みんなで盛り上がるまつり

長井タスホテル、おらんだラジオに加盟

長井市だけでなく上山市などとの連携も必要だと思う

伝統継承をしている団体にも支援してはどうか。

東側には中心となる商業施設や文化施設が多い。西側はスポーツ公園が立派なので、あゆーむをもう少し広く建てて、体育館やプールなどあれば文化とスポーツ分野で活性化できた。中央公民館があゆーむのホールみたいだと良かった。

独自性が無くなっていると思う

売りを明確にしないと、大と小の連携では大きい方に流れてしまう。人もお金も。ネット社会もかなり進んでいて、行政として何か手を打つ必要性は感じません。やるなら「白鷹で面白いことやってるって」という地元民の笑顔だと思います。

白鷹だけでなく置賜地域全体が抱える課題であると考えられる。したがって、視野を広げて観光、産業、経済の課題について行政相互が一層高めあう努力を希望する。

白鷹は山形市にも近くて意外と利便性が高いともっともっとアピールしてベッドタウン的な位置づけをしてもいいのでは

便利なところはますます便利に。不便なところは全く変わらず。格差がないように望みたい

隣組、組長の役割が単身になると重くのしかかる。もっと気楽に住めたらいいのに

令和の大合併。効率的な組織体制。

「連携する」でつながるのは無理がある。

老人世帯が多く、あまりこういった活動に興味がない人が多い。 4 5 はなぜ鮎貝地域なのか。特別扱いしているようですね。町内費が高額な割に、サービスが乏しい。

話し合い、研修などが必要ではないかと思う。このようなまちづくりをしたいと具体的に提案していいのでは

特になし

<基本計画の推進等>

「民間活力」の活用といいながら、丸投げにして、企業の食い物にされるのは困る(保育園・学校 給食・老人施設等)「公」がもっと住民に責任を持ち運営するとともに、「従業員の給料」等につ いても、良くすればいいのではないことを考えて欲しい。公務員として働かせれば、責任感は生じ るし、給料は税金として還元されること、消費活動につながることを再考したいものだ。

20代、30代の意見を吸い上げるべき。

348で事故があったときになかなか情報が入らないので、情報の共有サイトやSNSを運用して ほしい

PPP、PFIの導入は白鷹町にとって重要性がある

SNSの更なる活用業務の民間委託…パレスの問題など電話で質問しても答えてくれない

SNSを活用することで、紙面よりも情報を得やすい。

SNS活用、Wi-Fiなどあるがネットにつながっていないと使えない。パソコンはあるけどそういう人はどうしたらいいですか

アンケートに書いてあることを受け止め、町長や町議も含めて計画をし、良いまちづくりをする。

コミセンと町で決まってることはすぐOKでるが、提案他はNGであることがよく聞かれる。しっかりつめてほしい。

しらたか森林公園の民間委託問題はどうなるのか。白鷹コンビニ訴訟は情報開示は透明に速やかにお願いします。

スマホを活用して、町民が気軽に取り組める健康教室や交流など計画する。

デジタル化は重要。年齢の高い層ほど期待していると思う。他市町村に先駆けて導入すべき。鮎貝ファミマのレジシステムやファミポートなどを活用させてもらい、新たなサービスの開発と住民への提供を行う。住民票などは自分で出力できるよう料金に差をつけて来庁者を減らしその分のマンパワーを他の事業に向ける。

どれだけの人が基本計画に目を通しているのか。目を向けてもらう手立てが不足。

ネット・デジタル機器氾濫の中、人間阻害が益々進行しつつある。

パブリックコメントをして風通しのいいまちづくりをする

フラワー長井線の活用。南陽・長井との広域合併を目指す。

ホームページデザインの一新を希望します。又、他自治体と比べて情報量がかなり少ない気がします。全課で情報追加したらどうでしょうか。「キーワード」で調べてもヒットしない。調べたいことと、他自治体のホームページから調べている状況が何となく悲しい。

マイナンバーカードで住民票をコンビニで取れない数少ない自治体です。パスポートも取れませんでした。

以下に白鷹町として生き延びるか、できないところは何なのか、どうすればいいのか、まだまだ町民との意見交換が少ない。民間との協力も薄い。

一部のコミセン職員から「役場の対応が悪い」とSNSに投稿があったのが気になります。どのような対応だったかわかりませんしSNSに役場の対応の悪さを投稿するのもどうかと思いますが、役場とコミセンの関係は良好であるべきと思います。役場の窓口を19:00までにしてほしい

何度か役場で手続きしたり、問い合わせしたりしたが、他市町に比べて対応が悪いと感じた。わからないことを聞いているのに高圧的な対応と感じた。お仕事大変と思いますが、もう少し町民の立場に立った対応を望みます。

企業から農業へ、若者や定年退職者の価値向上に気づかせるPR及びそれが魅力であることの実現をする。

基本計画の推進に関わる実施事項について、目的や期限を明確にし、進捗や実績がHPで見られるようにする。まちづくり座談会は毎年違う内容での一方的な報告会ではあまり意味がない。新しいテーマに加え、地域課題とそれに対する町の取り組みや地域の提案を吸い上げ、前年に提起されたものについても進捗を報告する継続的な話し合いの場にする。

景色、自然も素敵だが、写真映え隠れ家の方が若者にヒットすると思うので、行ってみたいと思え る施設や飲食店が増えるとうれしい。

継続

計画通りいくはずがない。今からでも実行する。

広報紙などをよく見るようにしているが、ホームページは使いづらい。華やかに作っている割に内容が乏しい。窓口の対応がやさしくない。仕事をしているので、平日は行けない。土日の行政サービスをやってほしい。

広報紙に載せる個人名に配慮してほしい。

広報紙を楽しみにしている。高齢者にとっては重要な情報源。これからも期待したい。

広報紙を毎月発行配布し、それを楽しみにしている人はどれくらいいるのか。あんなにたくさんのページが必要か。3ヶ月に1回でいいです。削減した分を住民に配った方が良いです。

広報誌が多いと感じました。

座談会が大変ためになった。より多くの町民が参加し、行政の取組を理解し、自分もまちづくりの 一員というか主体であるという自覚を持てるようになるべきだと思った。

住民が住みやすく、楽しい町を目指してほしい

少子化対策がうまくいった町との交流とかモデルとなる町との交流を通じて白鷹に生かしては

情報発信だけでなく収集、分析に力を入れてほしい

職員の採用についてコネを感じる。採点方法や結果について透明性が必要

職員対応について、いい人もいればいまいちの人もいる。職員は質問だけでなく、プラスアルファで答えてほしい。住民にプラスになることは積極的に教えてほしい。

身の丈に合った取り組みを要請する

人材の活用に教員を使っていることが多いが、町組織が硬直化している。教員以外で優秀は人材はたくさんいる。

青壮年、高齢者の垣根を取っ払って、話し合い、何かを見出すところから。

専門用語が並んでいて、どういうものの質問なのか想像がつきにくい。

地域づくりにリーダーは欠かせません。生涯教育の充実、一年の出生数が30~50人という現実の中で役職活用から真の地域づくりをしたいという人材を民間活力を活用し考えてほしい。

町のHPが使いにくい。情報にたどり着くまでかなり探す時がある。スマホ版はいいがPC版が難あり。見直してほしい

町の宝である若い人達の声をもとに町づくりする。若い人達の交流をする。

町議会に女性議員を増やすことが望まれます。できれば半分くらい。

町職員の発想が民間と開きがありすぎる。民間から学ぶべきで胡坐をかいている職員を正してほしい

町報は毎月配る人が負担なので希望する人にだけ配って若い人はネットで見れると思う。

町民主体に子ども達を大人と同じ立場で加えること。学校の授業で広報を活用したり、議会傍聴したり、ダイレクトに関わる機会を増やして、興味をもってもらえるように。

通信端末も普及していて、ネットを活用できないでしょうか。田舎、高齢化社会とネットって面白 いと思います

土日に窓口をしてほしい

難しいのでわからない

年寄りはわからない。

白鷹町に不満はないが、インパクトに欠ける。隣の朝日町ではウサヒ、りんご、ワインと明確なキャッチがある。白鷹町は鮎、紅花、桜、いくつかあるがインパクトが不足している。

白鷹町の職員のレベルは他よりも高いと思う。他を多く見てきたが今後も町民を向いた行政対応を 期待する

発信の仕方や内容など今の時代で目立てるものを考える。公的な視点でみていては、難しい部分も あるのでしょうが

報連相がなっていない。同じミスを何度もしていて迷惑している。

民間の力はあればあるほどいいと思う。なんでも役場がやりすぎているように感じる。

役場スペースがオープンすぎてプライベートが守られない。職員にどんどん若い人を入れてほしい (早期定年推進)

役場に行ったが、若い女性は笑顔で対応、中年の女性には全く笑顔が無くがっかり。

役場に平日行くことができないので手続きをオンライン化してほしい

役場の人の対応が気になる。窓口でも今日はこの人が決まっているのかその人以外は無反応。様々な計画より自分たちのことからやってはいかがか。

役場の利便性。もう少しデジタル化を早めてほしい。コンビニでの書類発行を可能にすることな ど。

役場は町づくりの拠点。気軽に立ち寄れる場づくりを更に進めてほしい。

役場を訪れた際に疎外感を感じることがある。公務員は偉いのかもしれないが奉仕する立場でもあると思うので雰囲気づくりは大切ではないか。

役場職員に問題はないが、いくとなぜか緊張する。開放過ぎて見られているかんじがするからなのか。

役場職員の名札の文字が小さすぎて名前が見えないので改善する。

役場窓口の対応が悪い。もっと丁寧に対応してほしい(保険証の手続き)。職員の空気がとても悪いと感じた。

有能な資質をもつ町民の発掘と情報発信

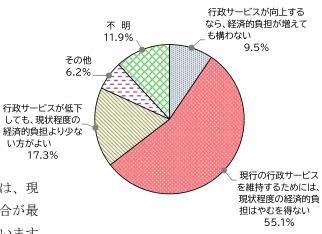
用語が難しくて理解出来ず、あまりわからない。

特になし

(2) 今後の行政サービスのあり方について

問5 少子高齢化、人口の減少により、今後、現在の行政サービスの水準を維持することが 困難になることも予測されます。あなたは、今後の行政サービスのあり方について、 どのようにお考えですか。(1つに〇印)

回答項目	回答者数	構成比
行政サービスが向上するなら、 経済的負担が増えても構わない	108	9.5%
現行の行政サービスを維持する ためには、現状程度の経済的負 担はやむを得ない	628	55.1%
行政サービスが低下しても、現 状程度の経済的負担より少ない 方がよい	197	17. 3%
その他	71	6.2%
不 明	136	11.9%
合 計	1, 140	100.0%

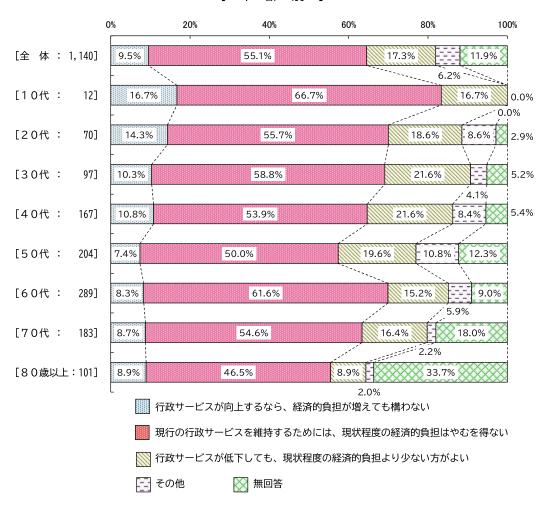


「現行の行政サービスを維持するためには、現 状程度の経済的負担はやむを得ない」の割合が最 も高く 55.1%で、全体の半数以上を占めています。

性別、年齢別、居住地区別、居住年数別ごとの回答については、次のとおりです。

【性 別】 0% 20% 40% 60% 80% 100% [全 体:1,140] 9.5% 55.1% 17.3% 6.2% 711.9% [男 : 543] 13.3% 51.0% 17.3% 6.6% 🖔 11.8% [女:581] 5.7% 12.0% 5.5% 59.4% 17.4% 行政サービスが向上するなら、経済的負担が増えても構わない 現行の行政サービスを維持するためには、現状程度の経済的負担はやむを得ない ── 行政サービスが低下しても、現状程度の経済的負担より少ない方がよい。 その他 無回答

【年齢別】



【 居住地区別 】



- 行政サービスが向上するなら、経済的負担が増えても構わない
- 現行の行政サービスを維持するためには、現状程度の経済的負担はやむを得ない
- | 行政サービスが低下しても、現状程度の経済的負担より少ない方がよい
- その他

無回答

【 居住年数別 】



- | 行政サービスが向上するなら、経済的負担が増えても構わない
- 現行の行政サービスを維持するためには、現状程度の経済的負担はやむを得ない
- | 行政サービスが低下しても、現状程度の経済的負担より少ない方がよい
- その他
- 🔀 無回答

3.「共創のまちづくり」について

(1) 地域活動への参加の有無

問6 地域の活動やボランティア活動にどの程度参加していますか。(1つに○印)

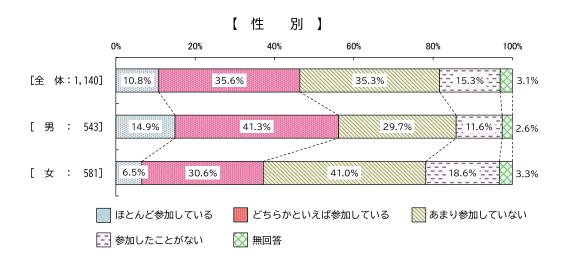
回答項目	回答者数	構成比
ほとんど参加している	123	10.8%
どちらかといえば参加している	406	35.6%
あまり参加していない	402	35.3%
参加したことがない	174	15.3%
不 明	35	3.1%
合 計	1, 140	100.0%

不明 ほとんど参加している 10.8% がない 15.3% どちらかと いえば参加 している 35.6% 35.6%

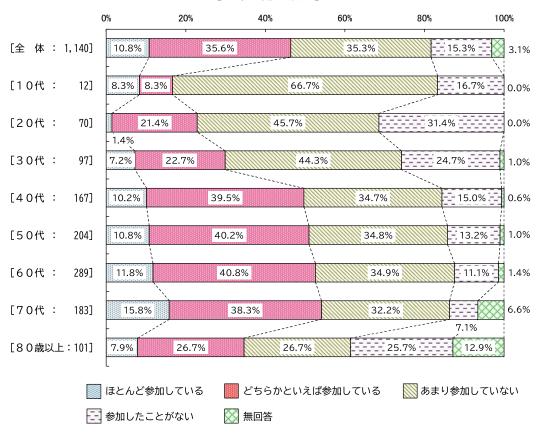
「どちらかといえば参加している」の割合が最も高く35.6%となっていますが、次いで割合が高い「あまり参加していない」(35.3%)とは0.3ポ

イントの差となっています。「参加したことがない」(15.3%)と「あまり参加していない」(35.3%)を合わせると 50.6%、「ほとんど参加している」(10.8%)と「どちらかといえば参加している」(35.6%)を合わせると 46.4%で、参加していない方が 4.2 ポイント多くなっています。

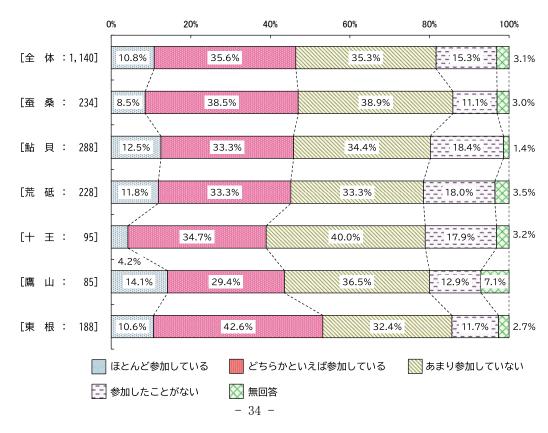
性別、年齢別、居住地区別、居住年数別ごとの回答については、次のとおりです。



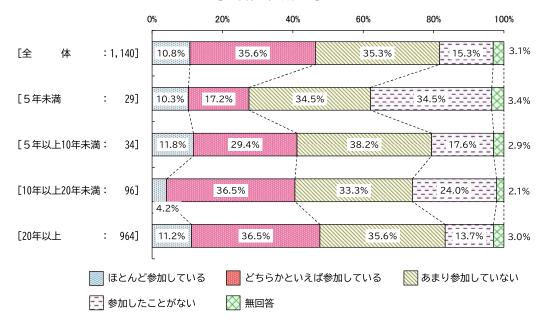
【 年 齢 別 】



【 居住地区別 】



【 居住年数別 】



(2) 地域活動やボランティアへの関心の有無

問7 地域の活動やボランティア活動に関心がありますか。(1つに○印)

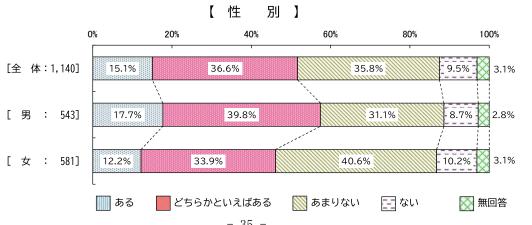
回答項目	回答者数	構成比
ある	172	15.1%
どちらかといえばある	417	36.6%
あまりない	408	35.8%
ない	108	9.5%
不 明	35	3.1%
合 計	1, 140	100.0%

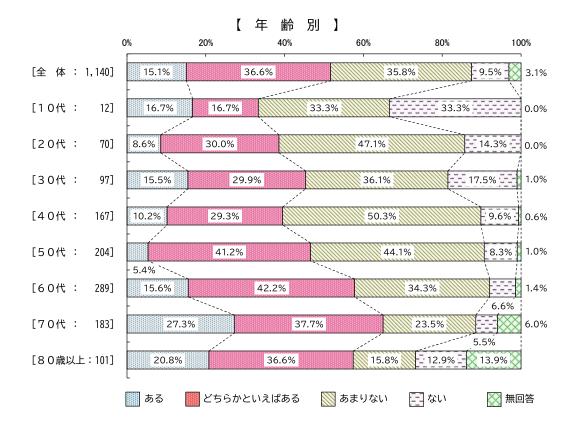
3.1% ない 9.5% ある 15.1% どちらかと あまりない 35.8% いえばある 36.6%

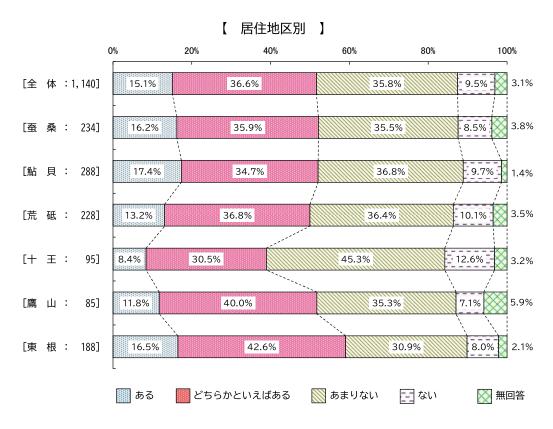
「どちらかといえばある」の割合が最も高く 36.6%、次いで「あまりない」が35.8%となっ

ています。「ある」(15.1%)と「どちらかといえばある」(36.6%)を合わせると51.7%で、 全体の半数の方が地域の活動やボランティア活動に関心があると回答しています。

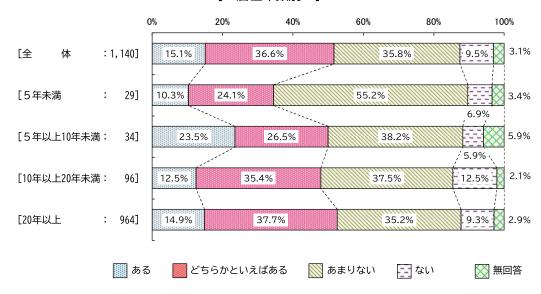
性別、年齢別、居住地区別、居住年数別ごとの回答については、次のとおりです。







【 居住年数別 】

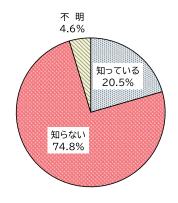


(3) 白鷹町が定める「協働のまちづくり条例」の周知

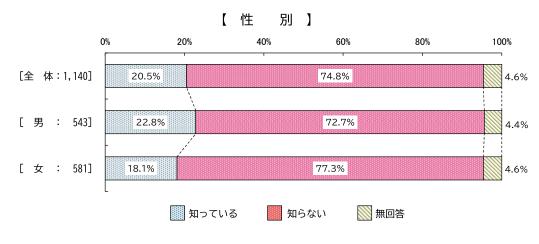
問8 白鷹町が「協働のまちづくり条例」を定めていることを知っていますか。(1つに○印)

回答項目	回答者数	構成比
知っている	234	20.5%
知らない	853	74.8%
不明	53	4.6%
合 計	1, 140	100.0%

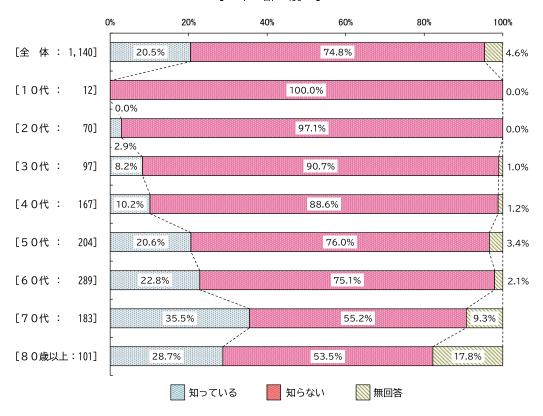
「知らない」の割合が最も高く 74.8%で、7割 以上を占めています。



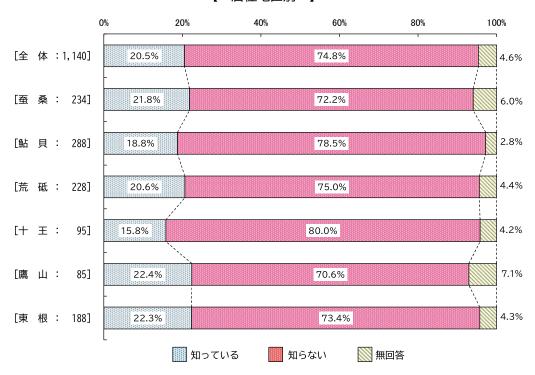
性別、年齢別、居住地区別、居住年数別ごとの回答については、次のとおりです。

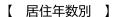


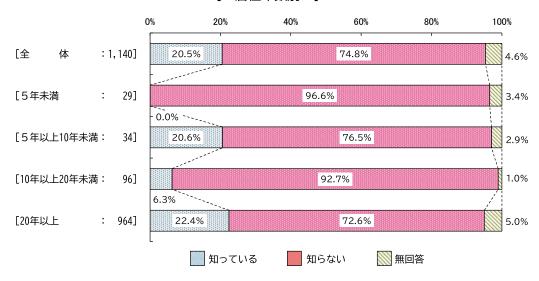
【 年 齢 別 】



【 居住地区別 】



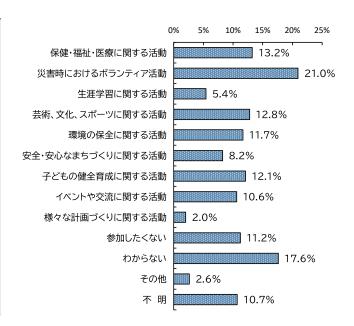




(4)参加したい活動

問9 共創のまちづくりを進める上で、どのような活動なら参加してもよいと思いますか。 (2つまで○印)

回答項目	回答者数	構成比
保健・福祉・医療に関する活動	151	13.2%
災害時におけるボランティア活 動	239	21.0%
生涯学習に関する活動	62	5.4%
芸術、文化、スポーツに関する 活動	146	12.8%
環境の保全に関する活動	133	11.7%
安全・安心なまちづくりに関す る活動	94	8. 2%
子どもの健全育成に関する活動	138	12.1%
イベントや交流に関する活動	121	10.6%
様々な計画づくりに関する活動	23	2.0%
参加したくない	128	11. 2%
わからない	201	17.6%
その他	30	2.6%
不 明	122	10.7%
合 計	1, 140	



参加してもよい活動は、「災害時におけるボランティア活動」の割合が最も高く 21.0%、次いで「保健・福祉・医療に関する活動」が 13.2%、「芸術、文化、スポーツに関する活動」が 12.8%、「子どもの健全育成に関する活動」が 12.1%の順となっています。

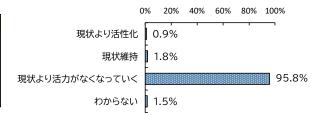
一方、「参加したくない」は11.2%、「わからない」は17.6%となっています。

4. お住まいの集落について

(1) お住まいの集落(区や町内)の今後

問 10 あなたのお住まいの集落(区や町内)は、今後どうなっていくと思いますか。 (記載してください)

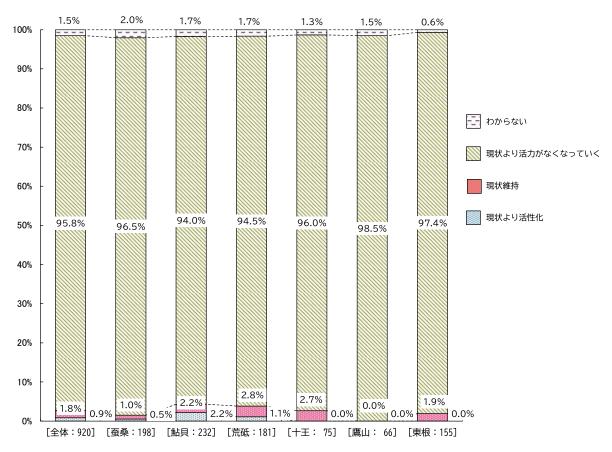
回答項目	回答数	構成比
現状より活性化	8	0.9%
現状維持	17	1.8%
現状より活力がなくなっていく	881	95.8%
わからない	14	1.5%
合 計	920	100.0%



居住地区別の回答については、次のとおりです。

回答項目	全体	蚕桑	鮎貝	荒砥	十王	鷹山	東根
現状より活性化	0.9%	0.5%	2.2%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%
現状維持	1.8%	1.0%	2.2%	2.8%	2. 7%	0.0%	1.9%
現状より活力がなくなっていく	95.8%	96.5%	94.0%	94.5%	96.0%	98.5%	97.4%
わからない	1.5%	2.0%	1.7%	1.7%	1.3%	1.5%	0.6%
合 計 (回答数)	100% (920)	100% (198)	100% (232)	100% (181)	100% (75)	100% (66)	100% (155)

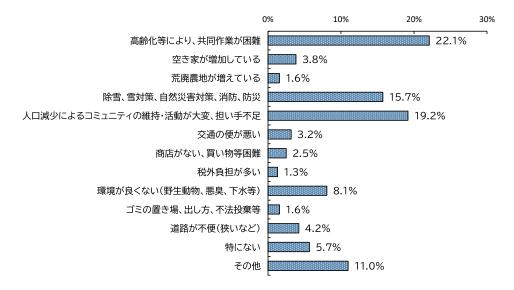
【 居住地区別 】



(2) お住まいの集落(区や町内)の困りごと

問 11 あなたのお住まいの集落で、特に困っていることは何ですか。(記載してください)

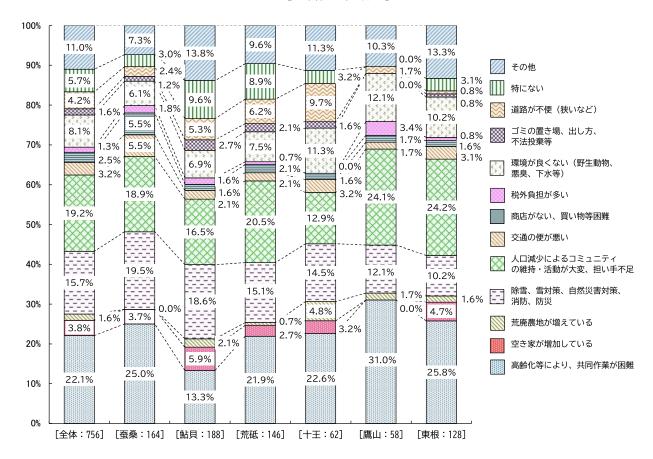
回答項目	回答数	構成比
高齢化等により、共同作業が困難	167	22.1%
空き家が増加している	29	3.8%
荒廃農地が増えている	12	1.6%
除雪、雪対策、自然災害対策、消防、防災	119	15.7%
人口減少によるコミュニティの維持・活動が大変、担い手不足	145	19.2%
交通の便が悪い	24	3.2%
商店がない、買い物等困難	19	2.5%
税外負担が多い	10	1.3%
環境が良くない(野生動物、悪臭、下水等)	61	8.1%
ゴミの置き場、出し方、不法投棄等	12	1.6%
道路が不便(狭いなど)	32	4.2%
特にない	43	5.7%
その他	83	11.0%
合 計	756	100.0%



居住地区別の回答については、次のとおりです。

回答項目	全体	蚕桑	鮎貝	荒砥	十王	鷹山	東根
高齢化等により、共同作業が困難	22.1%	25.0%	13.3%	21.9%	22.6%	31.0%	25.8%
空き家が増加している	3.8%	3.7%	5.9%	2.7%	3.2%	0.0%	4.7%
荒廃農地が増えている	1.6%	0.0%	2.1%	0.7%	4.8%	1.7%	1.6%
除雪、雪対策、自然災害対策、消防、防災	15.7%	19.5%	18.6%	15.1%	14.5%	12.1%	10.2%
人口減少によるコミュニティの維持・活動が 大変、担い手不足	19.2%	18.9%	16.5%	20.5%	12.9%	24. 1%	24. 2%
交通の便が悪い	3.2%	5.5%	2.1%	2.1%	3.2%	1.7%	3.1%
商店がない、買い物等困難	2.5%	5.5%	1.6%	2.1%	1.6%	1.7%	1.6%
税外負担が多い	1.3%	1.8%	1.6%	0.7%	0.0%	3.4%	0.8%
環境が良くない(野生動物、悪臭、下水等)	8.1%	6.1%	6.9%	7.5%	11.3%	12.1%	10.2%
ゴミの置き場、出し方、不法投棄等	1.6%	1.2%	2.7%	2.1%	1.6%	0.0%	0.8%
道路が不便(狭いなど)	4.2%	2.4%	5.3%	6.2%	9.7%	1.7%	0.8%
特にない	5.7%	3.0%	9.6%	8.9%	3.2%	0.0%	3.1%
その他	11.0%	7.3%	13.8%	9.6%	11.3%	10.3%	13.3%
合 計(回答数)	100% (756)	100% (164)	100% (188)	100% (146)	100% (62)	100% (58)	100% (128)

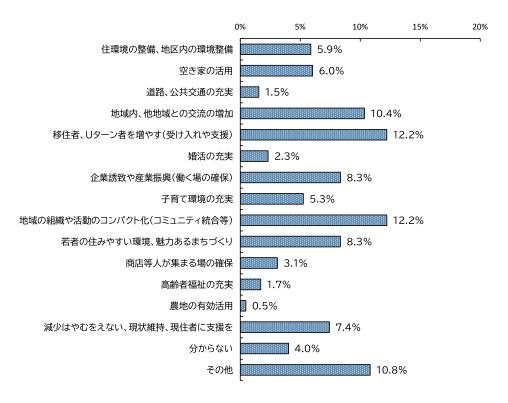
【 居住地区別 】



(3) お住まいの集落(区や町内)を維持していくためにすること

問 12 あなたのお住まいの集落を今後も維持していくために、あなたならどのようなことを しますか。(記載してください)

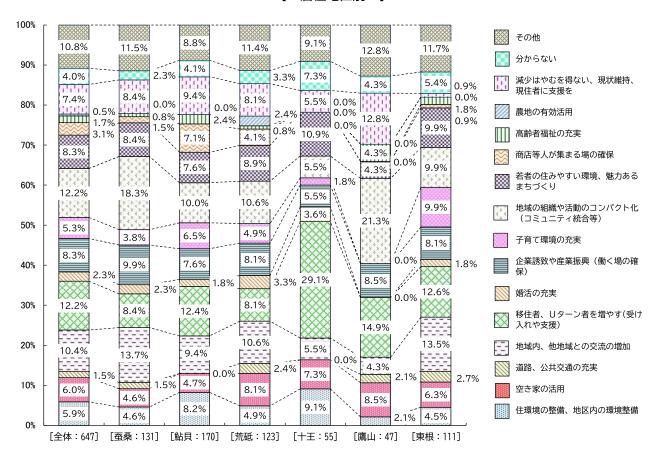
回答項目	回答数	構成比
住環境の整備、地区内の環境整備	38	5.9%
空き家の活用	39	6.0%
道路、公共交通の充実	10	1.5%
地域内、他地域との交流の増加	67	10.4%
移住者、Uターン者を増やす(受け入れや支援)	79	12.2%
婚活の充実	15	2.3%
企業誘致や産業振興(働く場の確保)	54	8.3%
子育て環境の充実	34	5.3%
地域の組織や活動のコンパクト化(コミュニティ統合等)	79	12.2%
若者の住みやすい環境、魅力あるまちづくり	54	8.3%
商店等人が集まる場の確保	20	3.1%
高齢者福祉の充実	11	1. 7%
農地の有効活用	3	0.5%
減少はやむを得ない、現状維持、現住者に支援を	48	7.4%
分からない	26	4.0%
その他	70	10.8%
合 計	647	100.0%



居住地区別の回答については、次のとおりです。

回答項目	全体	蚕桑	鮎貝	荒砥	十王	鷹山	東根
住環境の整備、地区内の環境整備	5.9%	4.6%	8.2%	4.9%	9.1%	2.1%	4.5%
空き家の活用	6.0%	4.6%	4.7%	8.1%	7.3%	8.5%	6.3%
道路、公共交通の充実	1.5%	1.5%	0.0%	2.4%	0.0%	2.1%	2.7%
地域内、他地域との交流の増加	10.4%	13.7%	9.4%	10.6%	5.5%	4.3%	13.5%
移住者、Uターン者を増やす(受け入れや支援)	12.2%	8.4%	12.4%	8.1%	29.1%	14.9%	12.6%
婚活の充実	2.3%	2.3%	1.8%	3.3%	3.6%	0.0%	1.8%
企業誘致や産業振興(働く場の確保)	8.3%	9.9%	7.6%	8.1%	5.5%	8.5%	8.1%
子育て環境の充実	5.3%	3.8%	6.5%	4.9%	1.8%	0.0%	9.9%
地域の組織や活動のコンパクト化(コミュニティ統合等)	12.2%	18.3%	10.0%	10.6%	5.5%	21.3%	9.9%
若者の住みやすい環境、魅力あるまちづくり	8.3%	8.4%	7.6%	8.9%	10.9%	4.3%	9.9%
商店等人が集まる場の確保	3.1%	1.5%	7.1%	4.1%	0.0%	0.0%	0.9%
高齢者福祉の充実	1.7%	0.8%	2.4%	0.8%	0.0%	4.3%	1.8%
農地の有効活用	0.5%	0.0%	0.0%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%
減少はやむを得ない、現状維持、現住者に支援を	7.4%	8.4%	9.4%	8.1%	5.5%	12.8%	0.9%
分からない	4.0%	2.3%	4.1%	3.3%	7.3%	4.3%	5.4%
その他	10.8%	11.5%	8.8%	11.4%	9.1%	12.8%	11.7%
合 計(回答数)	100% (647)	100% (131)	100% (170)	100% (123)	100% (55)	100% (47)	100% (111)

【 居住地区別 】



5. 主要施策について考える優先順位について

(1) 主要施策の優先順位

問 13 第6次総合計画前期基本計画では、「人づくり」「産業・経済」「地域力」「定住化」を 重点分野として位置付けるとともに、6つの重点プロジェクトを推進しています。 あなたがこの6つのプロジェクトに優先順位を付けるとどのような順番になりますか。

重点プロジェクト6つの項目について、以下のとおり回答結果を得点化しています。 選択された順位に点数を付し、その合計値の大小によって、順位を付けています。

※計算式

回答項目	点数	順位
出生数増加対策プロジェクト	3,012	1
若者回帰対策プロジェクト	2,785	2
暮らしを守る地域活力UPプロジェクト		3
「職住育近接」実現プロジェクト	2,402	4
「地域経済循環」構築プロジェクト	2, 242	5
地域のリーダー確保対策プロジェクト	1,489	6

各プロジェクトの詳細は、以下のとおりです。

◆出牛数増加対策プロジェクト

各種費用や健診、相談など妊娠から出産、子育て期までの切れ目ない支援に加え、婚活サポート委員会による出会いの 場の創出等により、出生数の増加を目指す。

◆若者回帰対策プロジェクト

UIJ9ーンや新規就農などの移住拡大に向けた総合的な支援に加え、「関係人口」の拡大に向けた「ヒト・モノ・カネ」の相互交流に資する取組の推進により、若者回帰を進める。

◆暮らしを守る地域活力UPプロジェクト

各地区コミュニティセンターを拠点として、自主防災組織や消防団と連携した地域防災システムを構築。このほか、公共交通体制の確保や地域包括ケアシステムの推進、再生可能エネルギーの利用促進等により、持続可能なまちづくりを進める。

◆「職住育近接」実現プロジェクト

幹線道路等の整備促進による時間的距離の短縮効果や四季の郷地域における商業施設機能等の画的な整備により、子育 て世代にとって、職場や住環境、子育て環境が近い「職住育近接」の実現を目指す。

◆「地域経済循環」構築プロジェクト

域外から獲得した資金を地域内で循環させ、自律的な経済構造を構築する「地域経済循環」システムの構築に向け、6次産業化や森林資源の活用等により、地域への還元利益の増加を目指す。また、観光分野における魅力創出により、交流人口の拡大や旅行・観光消費の増大を目指す。

◆地域のリーダー確保対策プロジェクト

地域の資源や人を知り、郷土に愛着を持つ機会を創出するため、ふるさと教育や生徒の海外派遣研修、地域おこし協力 隊の起業・定住推進等により、地域の担い手の育成を目指す。

6. 自由意見

現在もしくは将来に向けて町に望むこと、まちづくりや地域活性化についてのご意見などが ございましたらご自由にご記入ください。

分野別の主な意見は、次のとおりです。

<人口急減対策・移住定住の分野>

- ・空き家、土地を格安、無料で提供し移住者、若者の人口を増やす。・道の駅などで安くておいしい食の提供。高すぎるし美味しいと思えない・348の危険個所の改善
- ・人を増やさないとダメ。・もっと男の人がやってみたいと思える地区の活動を企画してほしい・ 紅花をキーワードにしているが弱い。高齢化でやる人がいない・ボランティアで自分のことだけで なく周りのことをちょっとやってあげる気持ち
- ・若い人たちの意欲を大人が応援できる空気感をつくりたいが、自分に何ができるか、何をすれば良いかわからない。・高齢者に対する施策はある程度評価できるが、若者や女性はこの町に住んでワクワクする楽しい時間があるのか疑問。女性や若者を思い切り応援したいと思うが、そういうことをあまりおすすめしないつまらない雰囲気があるのではと感じることがある。

明石市を参考にし、周辺から若い人が集まるような町にしてほしい。

空き家を有効活用し、若者やひとり親家庭などに安く貸し出す方法を考えてほしい。田舎ならでは のしがらみや人付き合いが苦手な人も多い。そこを我慢しないと暮らしていけないことを理解し、 人を集める方法がないのか。

空き家を有効に活用できる支援を行ってほしい。個人で商売をしたい方に貸すなど、いろんなスポットができて、発信できれば外から人が来る。外から人が来ない町に住んでいる住民たちも魅力を感じない気がする。住んでいての不満はないので、白鷹町の人々、役場から公的な機関の人々、すべての皆様のおかげだと思っています。これからも安心して暮らせる街であってほしいと考えます。

アンケートはもっと簡潔にした方が良いのではないか。経験者は現状維持をしたがるが、行事にしても企画にしても省略して、若者が参加できる内容、運営にしていかないと若者は大変。

いかに白鷹町に住んでもらえるかが重要。日々の生活がストレスなくできるように、他地域にはないことを生み出していくこと。マッチングアプリでも中々出会えない状況。あからさまに婚活ではなく、よりフランクに人付き合いを目指すイベントもあったらよい。

移住して3年になるが後悔はない。自然環境が一番で老後を送るにはすばらしいと思う。若者定住には問題がある。仕事の選択肢が少ない。賃金が安い。結婚相手がいない。何をするにも人、物、金。総合的なことを鑑み、若きリーダーたちに期待する。

移住者を求めても個人を尊重しなければ去られてしまう。疎外しない気持ちがないと持続しなくなる

移住はどの市町村も取り組んでいて難しいと思うので、まずは人口の流出を食い止めること。出身者が地元愛を持って故郷に帰りたいと思うのを大切にしてそういった方に支援すること

一旦町を出た人が改めて町の良さを知り返ってきたいと思えることが大切。今ある財産の発掘、情報発信が大切。マスメディアを通じた情報発信を。

一般的に働き方改革といっても職種も様々で、それなのに一般的に休みの多い土日にボランティア 的なのが多く、出られないとお金を取られる。子どもがいれば子供優先なのは当たり前。地域の行 事はできるだけ民間にお願いして若い人が働きやすい環境をつくらなければ人は出ていく

いつも白鷹町をよりよくしようとご尽力いただき、ありがとうございます。人口減少、若者がいなくなるということは大変なことですね。温暖化、紛争、様々なことが起き、巻き込まれることもあるかもしれません。健康で畑を耕し、周りの人達と助け合いながら自分の力で生きていけるよう、日々力をつけていこうと思っております。これからもよろしくお願い致します。

いろんな能力や知識、技術、見識を持っている人が実は多いと思います。そういった今までに目立たなかった人にも焦点を当てて知識をもらい、町としてもそういう人を発掘していい考えをもらえる努力をしてみるのもいいのではないか。

生まれ育った町に住みたいと思えるまちづくり。仕事は大事な生活の手段だと思う。出生率をいう前にまずは結婚できる環境が必要。

多くの人が町に来てみたくなり、住みたくなるような特色や魅力づくり、発信

思い切った計画がないとこのまま衰退していくばかりで…長井市はくるんとや道の駅が充実して人が寄ってくる感じ。人が白鷹に足を運んでくれることが発送できたらいいと思う。冬のイルミネーション、もっと宣伝しないともったいない。子供が興味を持てばみんな足を運ぶのではないか。隣組人数は減る一方。年齢にあった活躍できることがあれば長く元気でいられるのでは。

議会傍聴をしたが、それぞれの課が町民のために仕事をしているのが分かった。人口減少は不安。 子どものにぎやかな声が聞こえるような明るい白鷹町であってほしい。

結婚しない若者が増えているので独身税をかけて結婚しないと損する仕組みにしないとダメ。結婚 しない若者が多い町に魅力はない。獣害が増えているので専門家を呼んで話を聞く。

高齢化が進む中、若者も住みやすく生きやすい町づくりをしてほしい

高齢者が多く福祉に力を入れた取り組みも素晴らしいが、若い世代に住みやすい町づくりを期待します

子が数年以内に自宅隣に家を建てるとのこと。ほんとは喜ぶべきなのだが、将来考えれば町外の方がいいのではとモヤモヤしている。少子化なので、町でも若者が負担少なく、移住しやすいよう支援を厚くしてほしい。集落のリーダーの年代によって、昔からのこだわりが強い。代が替われば時代に合った心地よい環境になるのかも(50代では簡単に意見できない)。

子どもの数が少なく、人口が少なくなると子供の将来が不安です。少しでも子育て世代の方が増えてくれるとうれしい。若者に負担が少なくなるような政策を望みます。

子どもの数が減っていることに危機感を持っている。子育て世代が経済的にも時間的にもゆとりをもって生活できる町にしてほしい。子育て世代に魅力的で他の市町村から移住者が増えればいい。また、空き家の増加も気になる。新潟県十日町市竹所での例を参考に、空き家や古民家のリノベーションで街の景観をよくすることで移住者が増えるかもしれません。町内企業とタイアップし白鷹町に住んで在宅ワークを奨励する物言いかもしれません。

子どもの人口が増えなければまちづくりも難しい。子供が増えることをまずやる

最近、急に白鷹町が難しい状況にあることを実感する場が増えてきました。このアンケートなど将来のために動いてくれていることを頼もしく思います。町の未来のためよろしくお願いいたします。

借家も古いとか間取りの良くないのしかないし鮎貝に支援住宅があっても移住者しか住めなくて、町内で同居したくない人はどうしろと?遊ぶ場所も買い物もできないし、自然がいっぱいなんて結局田舎では。仕事休みの日は町内になんていない。子育て支援したって終わったら出ていく。地元の人は地元でつるんで移住者には冷たいし地域のつながりとかいらない。ほかの地域やいろいろな働き方の人を受け入れる人が増えないと他からの移住は無理。昔ながらのやり方に自分たちのやり方に合わせようとする人ばかりで無理です

集落が、白鷹町が、というより全体的に若い人が活きにくく感じる。精神面、金銭名、仕事面もろもろ不安定なことが多い。本人次第で人それぞれではあるが、やっぱり頼りどころ的なものがあればと思う。今いる若者も大切にしてほしい。

出生率向上もさることながら、独身者へのパートナーを結び付けさせるように、行政として本業の プロに調査、企画立案させる。片手間での事なかれ主義では成果は出ない。町の存続と地域活性化 には子どもがいることが大切。予算をつけて専門の仲人プロ招聘を。

小学生時代からの命のリレーが必要であることの教育。大人になってからでは人口が増えることは 期待できない。根本的な問題を掘り起こさなければ人口減少のブレーキはかからない。

少子高齢化に伴い、町の人口も減る中でこれからのまちづくりは大変な時代に差し掛かっていると 思います。その中で町としても様々な課題に取り組んでいただていると思います。我々町民として これからも安心安全に住める白鷹を目指してほしいです。

少子高齢化は続く。今いる子どもたちが将来町で生活できるようなまちづくりを期待したい。行政だけではできない。町民の協力なしでは。協力させていただきたい。

将来家庭を築くことを考えると、経済面と利便性を考えてしまう。私と同じ理由で出ていく若者は多い。どちらかが欠けていると帰るのは厳しい。賃金が低いと奨学金を返すので精一杯で少子化どころではない。高齢化にばかり目を向けても若い人たちからは不満感が多い。観光とか町の取組があると思いますが、住みやすさがあっても人はついてこない。

将来の人口、農業衰退について町民の間に危機意識を共有することから希望が見えてくると思われます。

職員の皆様いつも頑張っていただいてありがとうございます。この先やってくる人口激減などの行政存続危機を予想し早期に取り組むことが重要だと思います。町民として、共生、共助の精神でこの町を守っていくことが必要になっていくとおもいます。何事も自分事。

白鷹町が無くならないことを願います

知らない項目がいっぱいあった。自分自身でやれることはほんのちょっと。高齢化が進む中ですぐできることは、隣近所の助け合い。若い人が増えることが、一番の地域活性化になる。

人口が少なくなって寂しくなるが、ますます人と人とのつながりが必要になると思うので、町内の 行事やイベントで交流を持ったりする事が大事だと思う。町内のさまざまな魅力を再発見するのも 大事だと思う。町外の人でも白鷹の事に興味を持って知識が豊富な方がいるので地元の人も勉強が 大事だと感じた。

人口が増えない不安があるので、人口が増えるように考えてほしいです。白鷹の特色が他市町村、 他県に伝わってなく、田舎で何もないイメージが強い。

人口が増える工夫が必要。助成金などあっても知らずに住んでいる人も**多**い。若い人がずっと住んでいたい(帰ってきたい)町にする。

人口減少の中、白鷹町の将来が心配。人間だれしもメリットデメリットを考えるので、長井市に移住した職場の仲間に聞くと白鷹を選ばなかったのは土地購入はつてがないと難しいこと、町内関係やしきたりが大変そうなど。新築し居住する層は永住確定です。白鷹は素晴らしい施策をとっているにもかかわらず最終段階で決めかねてしまうのはなぜだろう。インパクトのある魅力が必要と感じました。若年ファミリー層は大事なターゲットだと思います。

人口減少を実感し、移住者や近隣市町に頼るしかない。町外の人の興味を持ってもらえるような施 策、補助を期待する

人口減対策、耕作放棄地対策、学校給食無償化と地産地消の拡大、地域活性化の話し合いの場、座 談会の開催

人口減をそのまま受け入れ、小さなコミュニティに再生すべき。地域住民の負担の少ない町の方が 若者は定住するのではないか。

全国で高齢化、人口減少の中で白鷹町だけ外から呼び込もうというのは無理。これからは限られた 人の中でどうするか、やり方が昔と同じでは誰もやりたくなくなる。人がいないなら働き方を変え るしかない。若者が住みやすいような町にして、生産性のある人に投資する

楽しいことを始めましょう。今までは、ではなくこれからを考えましょう。まずは行動してみましょう。ダメだったらその時に考えましょう。若い人の考える力を借りましょう。いろいろと考えを持っている若者はいます。頭を柔らかく、他市町村、他県の情報を取り入れ、白鷹町で無理なくできることはないか。勉強が必要かと思います。

町・県外からの移住者に対する支援は充実しているが、地区によっては保守的で物事の変化を好まない人もいるので難しそう。

町報で人口減少を感じています。でも町内にはアパートがたくさん建ってどういうことなのでしょうか。小学生の孫が良く図書館を使っています。迷惑になっていないでしょうか。マルシェが多すぎる。

年寄りより、若者に対してもっと支援、給付金を増やすべき。各企業の賃金を増やせば、若者がもっと住みやすい町になる。

とにかく人口減少を止めないといけないと思います。町では、あの手この手を尽くして精一杯されていると思いますが、国の大きな仕組みが変わらない限り、望めないように思います。仕事を地方に、教育で家庭をもつ素晴らしさ、郷土愛を育てる、子育て中の働き方の配慮など、多方面にわたっての枠組みがないと進まない気がします。

一言でいうと夜が長い町にしてほしい。飲み歩くということではなく、その分仕事があるということ。仕事がある町には若者が集まり、活気があふれる町になり出生率も上がっていく。

日々町のために、様々な活動を企画運営いただきありがとうございます。主要施策については、すべてが問題だと改めて思った。担い手不足が何をするにも大きな課題。

毎月の出生数をみても漠然とした不安を感じる。子どもたちはもちろん、どんな世代の人でも不安 が少なく、安心して暮らせる町になっていってもらいたい。

毎年40人程度しか生まれていない町で、子どもの可能性を伸ばす機会は少なく、親の負担も大きくなるばかりです。人がいなければサービスは低下し、地域も活性化しない。人がたくさん来て、住んでもらうにはどうすべきか。そんな方法があるのか行政が考えてください。間 $501\sim30$ 選択はとても失望しました。何とかしようとする気持ちが全く伝わりません。

町の魅力があれば、他から人が来たり若者が戻ってくると思う。まず「魅力がある」と周囲は気づいていない。PRも不足。

魅力あるまちづくりと定着

よく挙げられる活性化、人、若い力は人がいないとだめなので、若者が町から出ないように県外と の交流をする。改めて白鷹町を良い町だと感じてもらう。研修等は若者優先にする。

若い人が反応しない、笑顔にならないコンテンツは衰退する。長井や山形のスーパーに高校生らしき人達がいて、白鷹は行くところがないと思った。都会の人たちは田舎に癒しを求めているように思う。「山形に来ても何もないよ。温泉と酒とそばくらい」と言ったら「最高じゃないか」と言われ、こういう所にヒントがあるのでは。

若い人が減ってきて行事も大変。できるなら結婚してもらいたいものですね

若い人たちの意見を聞き入れ、どんな町にするのか考えてもらうことが大切

若い人はSNSで情報の発信、収集をしているのでもっと活用してはどうか。SNSはあるがあまり機能していないように思う。

若者に残ってほしいのであれば活気のある町にしないといけない。考えて伝えるなど、役場の人の対応を良くする。交通の便が悪いから都会から人は来ない。町営住宅はもっと作るべき。アンケートを書くために時間を割いた多くの方を無駄にしないように参考にし、しっかり対応してほしい。

若者のニーズに合った町づくりをする。言葉だけでなく行動で示す。町民がメリットになることをする。

<地域の課題、地域おこしの分野>

- ・住んでいるところが都市計画区域になっているが、どのように計画されているのかわかりづらい・町のコンパクト化を図るのであれば荒砥駅、四季の郷駅、鮎貝駅周辺にアパートを作るのはどうか。・四季の郷にスーパーがほしい・大平橋付近の287が狭くて怖い。広くするか新しい道が欲しい。・子育てしやすく景色がきれいな白鷹町が大好きです。発展することを願っています。
- ・地域活動は大切だが役員が多すぎてやりたいことができない。スリム化を希望する。・人口を増やすのは無理。今あるものへの支援をしてほしい・コンパクトなまちづくりには反対。今の場所だから白鷹に住んでいるという人は多いはず。・集落や区の単位にこだわりはないので鮎貝と蚕桑を一緒にしてほしい
- 25歳から50歳の独身者が相当増えている。独身者たちは君たちの代で住まいの拠点を無くすこと。破壊は一瞬、建設は死闘。

空き家が増えるのも心配だが、ほったらかしのお墓も心配。白鷹にも共同墓地を建ててほしい

空き家対策

アンコンシャスバイアスは大きな問題。ボランティアに頼りすぎないで。役割を無理に押し付けない。

安全なところに大きな公園を作る (バドミントンとかできるような)。山、川、畑、田の境をはっきりしてほしい、早めに。

移住して日が浅く取り組みをよく理解していませんでした。高齢者の支援をしつつ若者が増える取り組みや環境づくりをしたらいいと思う

田舎暮らしの楽しみが増えるまちづくり

今の白鷹町を維持してほしい。便利すぎるのもいや。のんびり過ごしたい。

現在育休中で子供中心の生活をしている。アンケートを回答すると、今町ではどういった事業やプロジェクトが行われているか全然わからないと思いました。このままではやばいのではと感じており、私たちができることは何だろうと考える事が増えました。友人とも話すようになって、具体的に何があるといいのかの結論は出ません。政策やまちづくりの困難さを体感します。今白鷹町にいる人みんなが町に関心を持てるようになるといいのではと思います。子どもたちだけでなく、親世代へ向けた政策があると関心が強まると思う。せっかく同じ白鷹町に住んでいるのだからみんなが現実的に考えて、町をどうしていきたいのか考える時がきている。人任せ役場任せではなく、一人ひとりが当事者として真剣に考えてほしい。

子育て世代には消防団、地区行事など負担がおいおい。一人暮らしになっても周りとコミュニケーションを取って過ごせたらいい

このような意見を記す機会に感謝。町民自身がまちづくりの主体であるという自覚を持たなければと改めて思った。白鷹に暮らす大人が活き活きと働き、人生を楽しみ、全うすることが大事。地域を維持していくために、子どもや若者、移住者に期待することよりもまずはそこからかと思う。共創のまちづくりのために微力ながらできることを尽くしたいと思う。

コミセン役員(上層部)の任期が長いことは決していいといえない。偏った人選は仲間意識が強く 慣れだけ残る。人材を育てながら民が参加できる意見を交わせる地域社会を望む。

コミセンを地域の人が借りやすいよう、ネットで申し込めるようになどしてほしい

自分が亡くなったとき空き家や田畑をどうするか

自分の子供が老人になったときに困らないような町になってほしい

主要施策等も相互に関連している内容だと思うから、先頭に立つ人達の有機的なつながりが重要だと思う。

順位を付けられるものではなく、どれも重要。近隣との連携も重要かと思うが、町民の連携強化、幸福度アップに努力したい。

白鷹町にしかないもの、白鷹町でしかできないものを大事にした町づくりをしてほしい。どこかの町がやっているから白鷹町もということが多いように感じる。町が一つとなって取り組めるものならいいと思う。今は一体になっていないように感じる。

白鷹町に住んではいるが長井市で働いており白鷹をよくわかっていなくアンケートに答えられなかった。私の隣組は高齢夫婦が大半です。このような状態では自分の子供に戻ってきてほしいといえない。白鷹で生活したい!家庭を持ちたい!と子どもが思えるようなまちづくりをお願いします。

白鷹町は町外に誇れる文化・食があるすてきな町だと思います。ところが、考え方が田舎で古すぎます。せっかくまちづくりを提案しても実施する地区・リーダー等が男尊女卑の考えや行動をする事で周囲も感化され、時代に取り残された事をしている事にも気付けなくなっているのが現実です。年上の人が偉い、年上だから何を言っても良いという古い考え方をしている人達が地区・部落のリーダーになっている限り、白鷹町の将来はないと思います。若い人達やその親世代くらいの人にはとても住みにくい町になっていると思います。

人口減少の中で地域でできないことを町に任せればお金がかさむのは当たり前。基本は家庭であり 各自できることをつかむこと。家庭の質が向上しなければ地域は発展しない。義務を果たさず権利 を主張するのではなく周りと歩調を合わせる高い倫理観が必要

人口はどうしたって減っていくもの。無理な施策を行っても効果は薄い。ゆるやかに滅びる考え方でよいのでは。

生活に便利なことが急激に進みすぎ。共同で生きる心が薄らいできた今、取り戻すことができるかどうかで活性化の方向性が決まってくる。

全部川東に集中しすぎ。川西、蚕桑を考えてください。蚕桑、鮎貝はどうなるのか。

地域の協働が不可欠になってきますが、やらなくちゃいけないではハードルが高くなるのでサークルやお茶のみなど楽しい機会に参加するのをきっかけに様々な行事等へ参加していく、楽しみながらみんなが参加できるようになっていけばいいなと思う。役職が一定の人に偏っているので分けれたらいい。人口減少により、町職員さんが学校等の仕事を兼務することが増えてきて、内容は幅広く負担が大きくなっているのが気になります。「まち」の中に白鷹町の職場も含まれると思うので、このアンケートを通じ、広く町の人の声を聞くように、働く人の生の声を聞いて安心して働ける職場づくりをお願いしたい。

小さい町だからこそ、みんなわかられてしまう。そこを良しとして、不平を言わず、足るを知れ ば、なかなか素敵な場所ですよ 地区役員は年配男性が担う傾向。女性も引き受けやすいシステムにできないか。

町外から人を取り込むことばかりに熱心で、今住んでいる人が出ていけば人口は増えない。

町内会の廃止を強く希望する。若者に昔の考えを押しつけ、かわいそう。今後も私は入るつもりもないし、協力する気もない。

町内長職が50代で回ってきそう。定年前は大変。休みを取って対応している人もいる。社員に辞められた経験もある。

町内に入らない (隣組) 方が楽に暮らせているのではないか。組長手当をアルバイトに当てて配布してほしい。集金も税金として徴収し分配、町民の手間を減らしてほしい。

町民の生活スタイルが変化して人口も減っているので、必要のない団体を整理してしかるべき。一人でいくつもの役をするのは若者には負担。

定年後の人材を生かせないか。

伝統やお祭りのような行事は大切に守っていくべきと思うが、昔のように農家ばかりではないので 昔からこうだとかを若い人に押し付けない。町内でも意見を押し付け、話を聞こうとしないので組 を抜ける人が多いのでは。住みやすくするためには負担なく参加できることが大事

隣組の存在について、いらないと思う。軒数が少ないのでわずかの年数で役員は回ってくるし回覧 板や配布物が負担。契約の必要も感じないし配布物はゴミになる。抜けたら抜けたで何を言われる かわからないし、若い人も迷惑だと思うので町で何とかして

とにかく高齢化、地域で山人足、水路のごみ上げ、人手不足。出られないと出遅れでお金を集金されるのはおかしい。これでは若い人は白鷹を離れる。山の管理、水路の管理などは予算を組んで町で何とかしてほしい。

中山地区は夏は過ごしやすいが冬は大変。買い物をするにも荒砥までいかないといけない。その辺を考えて町と平等な暮らしができるようにしてほしい

はじめから大きな事業をしようとするとリスクや個人負担が大きくなるので、小さな成功の積み重ねが大事。楽しくないと続かないので、労力をかけすぎないことも大事。それぞれの地域で小さな成功が増えて、次第に大きく、他と連携したりすることで地域が元気になっていけばいい。

人の話を聞かなくて、自分のことばかり話している。うんざりする。

日々の暮らしで精一杯で、ゆっくり地域のことにも関わっていきたい

古い考え方を変える必要がある

法律上難しいが、地域に属する場所に最低限協力する項目を定めないとコミュニティが維持できない。(移住者増加推進に積極的になれない。)

ホッとする居場所が増え安心できる街だとよい

まだまだ横のつながりが薄い。団体や民間企業との連携がない。お願い事や決定事項をやらせているだけ。企画段階から意見を出し合いより感覚を町民レベルにしていく。アンケート結果が出るだろうが、それで実際どう動くのか。すぐ動いてHPや町報で知らしめる。白鷹らしいことではなく白鷹をでないとできないことをやっていく。特に若い世代、子ども、病んでいる人達を救う町、できないことをできるようにする町

まちづくりのために紅花、桜、地域おこし協力隊、道路の整備、子育て環境の整備、老人福祉、環境づくりと多方面での取り組みに感謝している。しかし今の白鷹の状況で、これから生活していくうえで不安材料があまりに多く心配。町としては多方面にわたり課題が山積と思いますが、私は今までしてきたものをさらに豊かにする方法を望みます。小さい子から老人まで笑顔で過ごせる白鷹づくりを住民とともにしましょう。

まちづくりは人づくりから。今から。

リーダーの育成

若者の定住とお年寄りが安心できる町はできないのでしょうね

<防災(雪対策を含む)の分野>

荒砥から朝日町間は暮れや正月も除雪を徹底してほしい。

大雨の時、鮎貝の河川の氾濫が毎回同じ場所で繰り返し氾濫しているので行政で至急調べて改修してください。安心安全に住める地区にしてください。

元日の能登半島地震の被害を見て、防災・減災を考えずにはいられない。隣近所の日常的な協力はもちろん、有事にはそのきずなが強くならなければと考える。白鷹は活断層の上にあることを認識し、日ごろからの備蓄はもちろん、避難訓練を繰り返しやるべき。川西側にも備蓄倉庫を備えてほしい。

気候による生活への不安はあるが何とかできる範囲で生活してきた。年齢とともに不可能なことも 多く出てくるので、そうした時のためにつながりを大切にしていきたい

災害の少ない白鷹町を積極的にPRし移住してもらい空き家を使う。老人が増えているので、老人の困りごとを手伝うことに注力してほしい。

災害も犯罪も少なく住みやすいと思う。人を呼ぶための他にはない魅力、ここが一番といえるもの ができたらいいなあ~金がないか

消防団に入っているが、活動が増え、やり方も変わってしまい以前はそこまで負担に感じなかったが最近は続けていくことが苦しい。団長や副団長、分団の関係性が近すぎてコミュニティとして健全が保たれているのか不安。下の意見が上に伝わっているのかも疑問。一つの会社から大多数の役職を出し、やりたい放題やっているようにしか見えない。いい加減にしてほしい。

消防団の負担が大きすぎる。団員の意見を聞いてほしい。

除雪の時間をもっと早く。倉庫の前を片付けた後に置いていかれる

除雪をもっときれいにしてほしい。買い物に行くのも大変。

農地は出稼ぎの時代には必要だったが今は不要。それを農地法で守るのはどうなのか。災害ボランティアに参加しているが、地元の参加率がどこでも低い。白鷹にはそうなってほしくない、助け合いを作りたい。町でボランティアに行ってみてほしい。町の至るところで山が切られ、それが原因で災害が起きるのではと思う。きちんと管理してほしい。

物価上昇で年金暮らしには大変。そこに集金がくる(社会福祉協議会、日本赤十字、衛生組合、神社の寄附金、町内費)。この時期に集金を中止するとかできないか。高齢者の一人暮らし世帯が多く、除雪が大変

無散水消雪、消雪溝の整備

<保健・医療・福祉の分野>

- ・医療費の増大に対応すべき。過度な投薬になっていないか。高齢になるにつれて減らしていくべき。行政の取組指針が欲しい。・認知症患者の比率は他市町村等に比べてどうか。統計の公開を希望します。・子どもから高齢者までが活き活きとしたまちづくりをベースに、健康一番の考え方を取り入れた政策立案をお願いしたい。
- ・高齢者が利用できる施設やグラウンド・介護サービス、介護認定の決定
- ・コロナも落ち着き、先日の町場でのイベントも楽しく、町の力を感じました。今後もお願いします。・皆いつかは老人になるので、子育て支援住宅のような老人ホームがあればいいと思った時がありました。・あゆーむでコンサートをして活性化させてほしい
- ・白鷹病院は最も重要な医療機関なので山大との連携で続けていってほしい。開業医の先生も大事な存在で、遠くの大きな病院に老後通うとなると心配。・隣組長の配布物、集金、高齢化の中で大変なことです。・高校を卒業すると県内外の大学や専門学校への進学が主流になり、市のスキルを活かすには地元での就職が難しいのだと思います。
- ・町の医者が存続できるように町全体で取り組んでほしい。・住人が増える取り組みをしてほしい・町報を見ていると結婚している人がいない。残念におもう
- ・老々介護の不安、対策・一人ぐらし問題、シェアハウス(望まない人が多いとは思いますが)・ 白鷹町で生まれた子どもがこの町で暮らしていこうと思う魅力的であることの第一歩は?
- 94歳と高齢で無理できず残念。健康づくりに興味がある。

アンケート難しく感じた。若者子育て世代を大事にしながらも、高齢者が一人になっても安心して暮らせる町づくりをしてほしい。

医療機関をもっと充実させてほしい (難しいでしょうが…)

医療従事者、保育士、介護士、教職員に不足が出ないよう対策を講じることをお勧めします

運転ができなくなっても通院や買い物が不便なくできるよう、福祉面の充実を願う

高齢者が多くなるので健康づくりの活動には参加していきたい。介護施設の人員不足が不安です。 町報などを見てまちづくりに関心を持っていきたいと思う

高齢者と障がい者の共生型施設があればいい。障害を持つ方もいずれは高齢になるので同一の施設でサービスが受けられると親族は安心。子供が障害を持つ場合、親がずっと面倒は見れず将来が不安なので同じ施設で顔を合わせられると安心

高齢になった時を考えると除雪や買い物、介護を受けられるか不安

子育て支援は充実しているが高齢者は生活困難

子どもや高齢者が住みよい町であれば定住人口は増える。福祉充実には財源の確保や町の活性化が必要。白鷹町は自然や文化を大切に保っており、誇れるもの。もっと積極的にアピールすべき。

今後車の運転ができなくなる不安、生活の相談ができる人が近くにいない

社会福祉協議会では高齢者の介護福祉事業を一斉中止。以前から育ててきた介護士等が他地域に出てしまうようなことになっているようだがなぜですか。町としては何か手を打つことはないのでしょうか。

主人が亡くなり一人暮らしで負担が大きいので、非課税世帯への給付金などあればいいなと思います。とにかく70歳に泥上げは辛いし、休めばお金を払わないといけないので、そちらに税金を使ってほしい

小児科、産科を設ける。役場の人の名札の文字を大きくする。子育て、介護をしている家庭にごみ袋などを配る。

小児科もだがちょっとした病院が近くになく不便。店もないので他に行かないといけないしガソリンも高いので白鷹で詰めたことない。子どもへの支援は厚い

人口減少、後継者不足により病気の人を助ける人がいなくなっている。増えることを願う。

心身的に大変な人へのサポート体制を作り PRが必要。知らない人も多い。サービス業でも思いやりにかけている人が多くなった。対応や人の気持ちがくみ取れるような人材育成、研修が必要。

心身の障害がある人が入れる施設があったらすぐにでも入りたい

住み慣れた家で自分らしく暮らしたい。高齢者を施設に収容する形から在宅に施策を転換してほしい。個人のニーズに応えながら、負担は個人が行っていくべき。

地域ケアシステムとあったが、要となる先生がいなくなるのではないかと心配。訪問看護ステーションもなくなるといううわさも聞く。地域ケアシステムが機能し、住み慣れた地域で自分らしく今後も生活できることを願う。このアンケートにより、自分がいかに自分の町の事を知らなかったかがわかった。自分の足元を見つめていきたい。

町立病院の時間外の対応に問題あり

町立病院は残してほしい。町医者が閉院したらそこしかなくなると思うから。

図書館が他と比べて階段などもありお年寄りや障害のある人にとって使いにくいと思う。あゆーむも使う人がいなくもったいない。いろいろ企画して町民が行きたくなる場所にしてほしい。町民の税金で建てたので町民のためになるように使ってほしい

どのように町を維持するかが課題。特に医療の維持は課題だと思うので町立病院の体制を維持できるよう町からの支援が必要だと思う。

難病を持つ者への医療費の補助があり安心して働ける個々への対応

日本全体で人口減少なのだから特徴のないこの町で維持するのは無理。これからのことをシビアに 考えて少ない人口で持続可能なまちづくりを考えていただきたい。若者への住宅支援も大事だが、 高齢一人暮らしが安心して暮らせるよう、そういう人を一つにまとめてスーパーなども作って入居 すれば車も運転しなくて済む。それから真実かどうかわかりませんが348の細野にペットの葬祭 場を作ると話を聞きました。絶対やめてほしい。あそこにあるべきなのはきれいなトイレで、一階をトイレ、二階をカフェなどにしてほしい。348は途中にうす暗いトイレしかないのが不満。

人はみな歳をとるが、子どもも離れなかなか帰る時間もなく寂しい。体も動かなくなり生きるのが大変で冬は死にたくなる。家の周りの管理をお願いしていた人も歳をとり頼めず、お金を出せばしてもらえるがそれは難しい

病院で小児科と産婦人科でいい先生がいれば人口も増えるのではないか。せっかく町に病院があってもかかりたい先生がいないので他の市町に行っている。

病院で名前ではなく診察券番号などで呼んでほしい。 J = ALERT が全く聞こえないので各家庭に無線機を貸してほしい。

まちづくりも大事ですが、まずは健康で暮らせるよう健康づくりプロジェクトを見直してほしい。 ヨガ教室やセミセルフ整体に参加しましたが体力づくりにはつながらず、自己流で頑張りすぎて肩 を壊しました。その後は親の介護などが重なり働いてもいるので日中の教室に参加は難しく、近く にジムやスイミングもないので、都会で暮らしている知人と比べると体に悪い生活をしているなと 感じます。今後の一番の気がかりは病院の選択肢が少ないことです。今は運転ができますが専門の 医院は遠いです。町で専門的な運動指導が受けられ、健康で元気でいられれば町全体にも活力が生 まれるのではないでしょうか。

役場の人は忙しそうで相談できない方がいるのではないか。素晴らしい庁舎だが、相談する場所は オープンすぎるのでは。職員と住民の間を取り持つ人がいてくれたらいいのではないか(案内 人)。健康づくり推進員や民生児童委員の方にもっと手当を差し上げたい。

弱い立場の人の意見を聞き、反映できるまちづくりを希望。町職員の心身の健康管理をお願いします。まちづくりの主役は子ども。学校の先生が専門性を十分に発揮し、子どもと接することができるようサポートを。スクールサポートスタッフやカウンセラーなどは、専門的に対応できる人材を配置してほしい。

若者が安心して働ける町になってほしい。いわゆる弱者を守れる行政であってほしい。特に西側で 運転できなくても暮らせるようにしてほしい。除雪。健康保持のため歩けるよう街灯整備してほし い。

<子ども・子育て、教育の分野>

- ・ALTや白鷹に住む外国人と交流してみたい・白鷹町がどのような支援をしているのか詳しく知りたいのでSNS、町報、講演会をしてほしい。中高生向けにも・このようなアンケートを年1回はして意見を聞いてもらいたい・これからも荒高存続のために支援を続けてほしい
- ・子育て支援は他からもうらやましがられる。継続してほしい。・四季の郷に住んでいて未来都市計画区域で税金も多く払っているが、コンビニとドラッグストアのみで他はほとんど倉庫。若い人は増えているのでその分スーパーなどが欲しい。多く払っている税金は何に使われているのか。・あゆーむ、きれいだがなかなか入りにくい。何もなくてもふらっと入れるようにしてほしい。・ファミマさくらの店の後ろの芝生スペース、入っていいのか何なのかわからない。イベント以外にも気軽に入れたらいい。
- ・出生数の減少が著しい。子育て支援と少子化対策をそれぞれに考えてみてはどうか。子育て支援は充実してきていると感じます。少子化対策には、若者の住むところ、仕事が重要だと思います。 広い視点で対策を考えてほしい。・子どもから高齢の方まで、憩いの場となるような広場や建物はあるといいなと思います。
- ・スポーツ施設の場所がバラバラなので大会があっても賑わいがなく不便。・緊急放送が聞こえない。アプリがあるようだが高齢者には無理。早急に対応すべき
- ・外にいる人を呼ぶのも大事だが、まず今ここにいる子どもたちが町から離れないように、周りの大人たちが気持ちを変えていくべき。子どもを大切にするイコール親を支えることになる。白鷹町で働ける場所がもっと必要だ。・米倉庫の白い壁を利用して、ドライブインシアターをしてほしい。・にこぽーとがあるが、小学生が集まって交流する場所が少なすぎる。公園や集まることができる場所をつくるべき。お年寄りの方々と子供が交流できる場もいいと思う。

・町民一人ひとり多かれ少なかれ想いがあります。このように表に出す機会はありがたい。・生活の中でたまに感じる「町への要望」も時が立てば薄れてしまいます。要望が改善されずとも生活はできますが、実現可能な「要望」があればタイムリーに対応して頂けると嬉しいです。・子育て世代として、子どもを遊ばせる場所が少なく感じます。近隣市町で屋内遊具施設を整備しているため、白鷹町は屋外の整備いかがでしょうか。マルシェも充実しているので、その流れで屋外イベントの企画や、公園整備はいかがでしょうか。パレス松風のアスレチックがなくなってしまい寂しい。スポーツ公園のトイレも暗く怖い。・町民の数が増えなくても、帰省してくる人や通りがかった人、観光客が毎年、年に何度も来たくなるような体制整備はどうでしょうか。(助成金があるから白鷹に移住するのではない気がします)・障がい者施設利用者の家族(都市部の方)向けの仕掛けが何かできないでしょうか。今後も町外、県外の利用者はいると思うので、その家族が町に来やすい体制整備により、利用者、家族、町とで福祉分野を盛り上げていく。(ソフト小村や子育て支援住宅を開放して、家族向け宿泊スペース設置など)・私もそうですが、何かしたいと思っている人は意外といると思うので、町として、ちょっとしたボランティアが気軽にできる仕組みはどうでしょうか。まずは自分からできるところから取り組んでいきたいと思います。

・東根小学校付近のバス停に屋根をつくってほしい。・白鷹中の前にあるテニスコート、公園にはトイレがない。早急にトイレをつくってほしい。・テニスコートに夜間照明が欲しい。・高校、大学へ通学する際の交通が不便すぎて、行きたい学校へ通うことができない。バスや電車の料金が高すぎて家庭の負担が大きい。多子世帯だけでなく平等に支援が必要。・両親と同居していると年金暮らしの両親の補償がもらえない。同居世帯にもきちんと目を向けてもらいたい。

20年後を見据え近年生まれたすべての子供たちに手厚い教育、人づくりにお金を使ってほしい。 町の特性を生かしたことに子供たちが興味を持てることが見つかれば素晴らしいことです。楽しい 体験とともにこの町を好きになってもらい、リーダーが一人でも現れたら後継者は続いていくもの と感じます。

鮎貝方面にアパートが無さすぎる。さくらの保育園隣の芝生スペースは何のスペース?子供を育てるのにはお金がかかるのに産め、産めというのは。産後のサポートがもっとほしい。

アンケートは聞きなれない言葉が多くうまく答えられなかった。役場の中では分かっていても浸透していないのではないか。12月に飲食店が閉店したり、3月にパレスの経営が変わったり不安はいっぱいある。保育料無償化など町の事業で評価に値するものは多くあるが、それによって人口は増えているのか…

飯豊町、朝日町のような学校になっていくのでしょうか

学童利用の助成対象の所得課税額を撤廃してほしい。学校給食の無償化をしてもらえると助かります。熊対策をしてほしい。

義務教育期間は支援が手厚くて素晴らしい。高校大学は希望したくても経済的理由でかなえられない。せめて第3子に支援があれば、学びたいところで学べるようになり、未来の白鷹の為にもなる。

くるんとのような遊び場が欲しい。店が少なすぎて若者は離れていく。

現在家の下の孫が小学3年生、卒業すれば町内に小学生がいなくなります。本当にさみしいことでどうすればいいかわからない!

公民館が老朽化している。維持も困難になる。区一つにする等の指導アドバイスを町からしてはどうか。

子育て支援住宅にシングルの方でもは入れるようにしてほしい。泉房穂元市長のような政策を望んでいる。

子育て支援住宅に住んで良かったこと、改善してほしいこと(良かったこと)・薬王堂やファミマ、保育園が近くて使いやすい。・家が広くて、子育てしやすい。・戸建てなので、子どもが騒げる。(改善点)・床が木で素敵だが、落書き時の掃除が大変。・暖房を用意するのが大変(エアコンも高価)・庭の砂利を子どもが投げたりするので危ない。夏は熱い。・リビングの窓が220cmのカーテンが必要だが、あまり売っていない。200cm位にしたほうがいい。

子育て支援住宅について、片親は入居できない。やむを得ず県営アパート等で生活している家庭が多くある。生活音でいやがらせのメモ等を受けたりもしている。行政に相談してもほったらかし。町としてそういう世帯に対する支援について早急に考えてほしい。病児保育についても考えてほしい。見てくれる人がいない。

子育て世代が安心して住める町にしてほしい。高齢者が免許を返納した後の交通手段を考えてほしい。

子育てに手厚い町であることが一番。それによって高齢者の方も安心できるのでは。

子どもが遊べる場所がなく隣の市に引っ越してしまう。天候に左右されず冬期間も使える室内スポーツ施設がない。子どもが育てやすく楽しく過ごせる子どもファーストの町でなければ少子化は解消されない

子どもが楽しめる公園が欲しい。今は小さな公園が点々とある程度で思いっきり遊びたい時は他に 行っている状況。遊具がたくさんあって子供たちとずっと遊べる施設があれば他県から人も来るの では。(室内だとなおいい)

子どもが保育園に入るときに引っ越してきて、のびのびした生活はできたが今になっていろいろ考え直している。自宅に畑があれば、子供がいるときはよかったなーなど。

子供達が走り回れる大きな公園がほしい。夜も駐在する警察官がいてくれると安心できる。

子供の出生率の話題が多いが、産む所が少なく、安心して子供が産めない。産院がないため、選択 出来ない。子育ての取り組みは全国的に行われているが、今まで国や県に税金を納めてきた分、特 に冬は家に閉じこもってしまうので年配の方にも何か楽しめる機会を与えて欲しい。白鷹町はこれ といった観光がない。

これから町を背負っていく子育て世代が、安心して子どもを2人3人埋めるような支援をしていただきたい。

コンビニ交付してほしい。小学校の児童数が減っているので統合し合理化すべき。

三人の母親ですが、町の赤ちゃん健診が苦手でもう産みたくないと思うほどです。先日はフッ素を塗らないでほしいと伝えたのに勝手に塗られました。全てにおいて押しつけがましい。アドバイスを必要としていない人にまでアドバイスしようとするので話があら捜しになる。町という公共性を考えれば様々な考えについて開かれてあるべきです。

仕事、育児、家庭でまちづくりまで関心がいきません。イベントをするにしても休みを利用しないといけないし休みも取れない。働くことでいっぱい。田んぼ、畑、空き家については今から不安しかない。今の家だけでなく実家についても不安しかなく、土地が広すぎると継承もしたくないので離れていく。生まれた故郷がなくなるのはさみしいが時にあきらめも必要。子育て支援の充実はもっとアピールした方がいいのでは。

出生数の減少が著しく、あと数年で小学校の入学者が一桁になる。これからの子供たち、保護者にとってどんな学びの環境がよいのか、若者たちは本気で考えてもらう時期になっている。少なすぎる環境は学びの刺激も変化を求める心も限られてくる。そろそろ本気で話をする時期だと思う。

小中学校の給食完全無償化

将来のまちづくりの担い手のため、教育の充実化を大切にしてほしい。特色ある白鷹の教育を見える形にしてわかりやすく提示してください。外部からは白鷹の教育は素晴らしいといわれます。役場や図書館はきれいになり使いやすくなりました。医療に対して、町民が頼りにできるのは町立病院です。医療の充実をお願いしたい。医師はいいが看護師が冷たい。困って電話をしたら「この程度で電話してこないで」と言われたこともある。これからの高齢化を考えると丁寧な医療が求められます。隣近所の関係性が希薄になってきています。何かあったときに助け合いお茶のみできるような温かい関係づくりが大切だと感じています。

白鷹は集まる場所もありイベントも多い。子育て世代は役員として参加するのは難しいのでそこは許してほしい。役場の方お仕事お疲れ様です。

住んでいてもアンケートを通して町がしていることがわからないと感じた。関わらないとわからないし情報発信が大事だと思う。独身者を減らして子育てしやすい町をもっと強化してほしい。

生徒の海外派遣について、行った子供のうち何人白鷹に残っていますか。楽しい思い出だけに税金を使っている意味がない。教育について、白鷹町はどういう町で何が不足しているとか町の課題を幼いころに知りたかった。農業、林業をどのように金に換えて生活できるようにするか具体策が欲しい

ソフトボールの町と言いながら白中ソフト部が廃部の危機なのに何もしないのはどうかと思う

中学校のバスについて遠征に行く距離を伸ばしてほしい。

町外の人から白鷹は子育て支援住宅やランドセル贈呈など子育てに力を入れているイメージが強いといわれる。本当にありがたい。コミセンでの子供向け事業もありがたい。建売住宅を移住者用に作ってPRしては。

町内にある唯一の高校が毎年定員割れしている。県と町が一緒になり私立高校みたいに部活の強豪 校にしてほしい

図書館の通路が車いすには狭い。あゆーむが効果的に使われていない。

長く暮らしたいので持続可能なまちづくりをしてほしい。特に子供を育てる人が住みやすいことを アピールしたらいいと思う。住んでみて、山形市に近いことも強みになると思った

ひと学年100人しか子供がいないのであれば、逆にその100人に充分なお金をかけ、手厚い教育つまり15人に2人の教員がつくような他地区にはない教育環境を作り、英検取得や漢検取得、数検を無料で受けさせる英才教育に力を注ぐことができると思う。そこに、地産地消で持続可能な経済循環が加われば、人は集まる可能性はわずかにあります。官民一体でがんばりたいですね。

保育士の賃金を上げて保育士不足を解消し質を向上させる。幼児教育がこれからの課題だと思う

保育料無償化は本当に素晴らしい。保育料の心配をすることなく、仕事を続けながら、2人3人と産みたいと思っている。そんな制度を利用したいがために、保育園に預ける子どもだけ白鷹町に住所を移し、通わせている家庭が何件かあると耳にしました。将来的に白鷹に住むのであればわからなくもないですが、無償を利用するためだけに、その子どもに町民の税金が使われるのは違うのではないか。

町主催の書道展の開催 (芸術祭と別に)

まちづくりや地域活性化について世代を超えて議論する場が必要と考えます。役場組織を国県の組織に沿ったものに変えていく必要があると思います。特定技能労働者を受け入れる体制づくりの整備が急務であると考えます。大学等の研究機関を誘致すべき、学生を増やすべきと考えます。

ランドセル無料配布、地域振興券の配布素晴らしい

若い人にもアンケートをした方が、より声が聞けると思います。60歳以上になると、一日一日が、生活でいっぱいになります。年金では生活できないですね。3回手術しても元気で、パートですが、働いています。やはり思っていることは、後継者がいなくなるので、若い人や子どもが、住み良い町にしたいと思います。

<雇用、産業、観光の分野>

- ・商品券をばらまいて、その時だけの安心ではなく、将来に活かした政策をしてほしい。・紙媒体での広告宣伝を減らしてほしい。SNS社会が進む中、パンフレットを作りすぎています。もっと削減してSNS配信にもっと力をいれるべき。町内に人が常に来てもらうことを意識して動いてほしい。・同じイベントばかりするのではなく、何度も町に来てくれるような発信をすべき。・町内の学校のバスを日中に町民が利用できるように考えるべき。前は国からの補助金で違う利用目的はできないと言っていたが、もう一度考えてほしい。この町の未来は待ったなし。このままでは10年後がおそろしい。
- ・町内に働く場がない。職種も工場ばかりで選べず、生活のためにやりたくない仕事をするしかない。賃金も安く、生活費で終わり。選択肢を増やしたく町外に出て行きたくとも貯金ができずあきらめている人もいる。・あゆ茶屋にもっと集客すべき。手軽に食べられるものがない。あゆ茶屋=ちょっと高いというイメージがあり、ふらっと寄れない。このため客層が高めで鮎だけにこだわらずラーメンや串焼きなど、山形らしいものを。トラック運転手や子持ち世代、若い世代を呼び込む工夫をしてほしい。地元の野菜を販売したり、子供が遊べる場所もあればなおいい。交通量が多く、駐車トラックが行き交うところでも橋や道路の拡張がなされていないところがある。・白鷹から力士が出たのは良いこと。まわしを贈ることは町民全員が納得していることではない。勝手に贈呈しないでもらいたかったし、送るにしてもまだ早かったと思う。
- ・町民や町出身者なら入れる永代供養塔を景観の良い所に作ってほしい。そういうのがあれば帰りたいと都会の友人は言っていました。特に50代以上の人はお墓の心配をしている人が多い。・荒砥には商店があるが西側にないので作ってほしい。移動販売でもあればいいと思うしたくさん作れば若者の就労に良いんではないか。
- ・特色ある街並み(蔵座敷でのお茶会、お雛様の見学訪問)・北限の絣の町(白鷹町を着物を着ての町歩き会、着物着用者のお買い物10%引きとか)・今まで中高生をオーストラリアへ研修に出しているが、その子どもたちがその後どう生かしているか知りたい。・お祭り、盆踊りなど一緒に町民が参加できる機会を増やしてほしい。
- ・農地の集約化推進・危険空き家解体補助金の大幅増額・敬老会ではなく、敬若会への意識転換

- ・他の地域へもドラックストア等を出店検討してほしい。・小児科、眼科、耳鼻科などがあれば安心。・荒砥駅のラーメンガチャはおもしろい。当たった券で行くきっかけになった。・町から発信されるXの情報はいつも見ている。今後も発信していただきたい。
- ・若い人が働く場を作る。大半が高学歴になるのに見合う場所がない・男女とも働く時代で結婚生活が女性にとって大きな負担。ライフプランセミナーで家事分担が当たり前を考えさせてほしい・議員の質問の少なさに驚く。問題意識をもって活動してほしい・町中に音楽があふれるようスピカにピアノを置けないか・少量多品種の作物を活かす・古いものを残す・町中心部ががら空き、建ったと思うとアパートでがっかり。起業する人がチャレンジできる場があれば人の往来も増える
- ・若者が集まる地域づくり。企業誘致と収入確保、子育て支援の充実、医療の充実、インフラ348の整備・空き家問題。処分する独自の仕組みを構築、支援

①大卒者が就職可能な会社の誘致②観光開発白鷹産鮎の確保、紅花の商品開発

AI、デジタル化になると思いますが人と人が協力しなければ進まないと思う。若者世帯が多くなるように賃金を多くもらえるようにしないと若者は戻ってきません

アジア国際音楽祭は素晴らしかった。またあのような祭典が開催されれば名前が知れ渡るのでは。

あゆーむをもっと活用してほしい。芝生の広場などでの集客イベント等。せっかく税金で建てた施設なのだから有効利用してほしい。歴史館はどの程度成果を上げているのか。とにかくパレス松風には期待しています。ここでケチって金を惜しんで露天風呂だけ直すとかはやめてください。最近流行りのオールインクルーシブを利用してほしい。広大な敷地で一日中飲んで食べて遊べて家族で楽しいような施設にしてほしい。日帰り入浴にしてもちゃんとした休憩所は欲しいし食事するような場も欲しい。ゆっくりできるのが一番大事だしそこにはお金を払うと思う。

荒砥駅の駐車場を大きくしてほしい。白鷹の大花火大会が見たい。

ーヶ所でいいので大きな公園があったらよい(遊具、ペットエリアも)。主要道路近辺に公衆トイレを設置してほしい(東陽の里等)。空き家イベントをしてほしい(見学や意見を聞く、バスツアー、外国人向けでも)。

大きな会社を誘致すれば若者は町に戻ってくる。

各地で魅力的な道の駅ができている中、白鷹町の道の駅はイベントがないときは全く人気もなく、 商品を見ても購買意欲がわくような品揃えもない。白鷹町の顔ともいえる道の駅を交通量のある場 所で魅力をアピールできる施設にする必要があるのでは。

上山でしていたキャッシュレスポイント還元が魅力的で、何回も行き新しい魅力も見つけたので白鷹デモしてほしい。白鷹で育った子供が地元に戻れる対策をしてほしい

川西、川東の差の低減。就学で転出した若い人の働く場所の確保。今不足している項目を洗い出して対策をしてほしい。

川西にもコンビニなどできてよかった。スポーツ公園、昔は遊具もあってたくさん遊んだが今は忘れられているので整備してほしい

観光資源が乏しい。企業誘致以外に人口増加は望めない。

企業誘致、低所得生活からの脱却、一次産業への見切り、2次、3次促進、切り替え定年延長に伴い今までのような町内活動、コミセン活動は負担が増えるばかり

給料の高い未来型企業の誘致。結婚するためのサポートに予算を拡大してほしい

公園の減少が気になる。荒砥にはあるが西側。球場などあるのだがエア公園も整備した方がいい。 にこぽーとだけなのはどうなのかと思う

子育て支援には大変助かっているがそれでも生活は大変。女性の足元を見るような各企業の賃金は 町として何とかしてほしい。 I Uターンの知人にとても勧められない。人口を増やしたいなら子供 です。子育て世代が誰かに勧められなければ人口は増えません。母親がお金の心配をせずに子育て に集中できる町づくりを期待しています。

米農家です。耕作者の高齢化でお願いされ農地が増えました。物価高騰だが、米を値上げすることができない。維持費にもお金がかかり、疲弊するばかり。田植えや稲刈りの時期に町からボランティアや県外から体験ツアー等。田んぼの耕作者に対して、町から助成や補助が増え、経済的にも少し潤えば、魅力を感じてくれるのでは。ぜひ支援を。

今回アンケートの対象に選んでもらったことで改めて考える機会になった。町にはいろいろな考えをもっている人がいるが、意見交換の場はないと思うので、そういった場を設けて風通しのいい動きができればいい。町だけの動きでは難しくなってきたと思うので人の流れを呼び込むか目玉を作る必要がある。土地を有効に活用しキャンプ場、グランピング施設、自然の中で遊べる場所づくり。子供たちの笑顔があふれる町を期待します

コンパクトシティ化を推進し農林業と居住環境の保全に資源を注力すべき

コンビニが少ない。小児科の医者がいない。医療機関が充実していない。活気があまりない。

コンビニ交付サービスの開始

産業を発展させて外から人を呼び込めれば活性化につながると思う

職場が少ない。空き家が多い。後継者がいない。

白鷹スキー場について、斜度が急で初心者が下りてこられない。材木の切り出し道路を利用して緩い斜面も計画してほしい。一つの売りになる。

白鷹町に住んでも働く環境、子育て支援、環境、色々と課題なところがあります。働く環境では、 共働き家庭も多く見られるが賃金が低いので物価との割合がつかない。子供がある家庭は大変厳し いです。

白鷹町に大企業 (海外企業や県外企業) を誘致してほしい。誘致によって地域経済が活性化する。 また、その企業に就職できる等良い面がある。

白鷹町の道の駅はどれなのか。若い人の働ける場所が色々増えてほしい。

白鷹町の魅力に対して本気で考える。今魅力があるのか。ないとすれば何を魅力としていくのか。地域おこし協力隊を使ってもいいと思いますが単発で終わらないこと。伝統を受け継ぎながらも、仕事になるような作戦。今は住んでいる人には優しい町なのかもしれないが、まずは住んでもらわないと話にならないので、白鷹町に人を呼ぶための仕掛けを考えることだと思います。鶴岡は慶応義塾大学のキャンパスを考えており、そこを卒業した人が地域に残ってくれるような活動が根付いています。白鷹町とは言いませんが、各地区の意欲ある高校生が興味を持って顔を出せるような研究所があればいいと思いました。優秀な人が優秀な大学を卒業して地域に起業する。そして、そこに勤務してもらうようなスタイルはいいと思います。そうなるには長い年月がかかると思いますが、とにかく、住んでもらうためにどうするか考えないと始まらないと思います。①ジブリパークのようなスケールの大きな観光スポットをつくる②交通の便をよくする。人を呼ぶ仕掛け。

白鷹町はアジア音楽祭など始めるのは早いが、継続やPRが弱い。応援してます。

白鷹らしい目玉を発掘して売りにして活気ある町にしてほしい

人口が減る未来しかないのに対策をしないのが謎。1. 起業支援。この方法でしか県外から人を呼ぶのは無理。2. 出産、妊娠等への支援強化。最重要項目。ここに他より圧倒的に厚い支援をすればメディアに広がる。観光資源もない町で人口増加するにはこれしかない。

人口を増やし税収を増やし若者の定着を進めるには、大企業やそのグループ企業を誘致し安心して 長く働ける環境を作ること。現在の白鷹町は中小企業しかなく勤務形態や賃金で低いレベル。安心 して働けることで離職や転職を繰り返す状況を変えなければならない。

新聞見ていると、白鷹の記事が少ない。町全体をターゲットとしたもっと大々的なイベントを計画 してほしい。

スポーツ公園という素晴らしい場所、環境があるので、皆さんが利用しやすく集まりやすく、整備をきちんとしてほしい。スポーツをする場所として、公園周辺にまとめて建てるべき。

大学を卒業した人が働ける場所が非常に少ない。子育て支援は充実しているので若い世代が住みたくなる町づくりを期待しています。

地域応援券はありがたい。地元の店では賞味期限の切れたものが平気で売っていたりするし、後から気付いても言いにくい。行政からもっと企業努力を呼び掛けてほしい

地域活性化を大きく阻害したのは約4年にわたるコロナ禍による行動制限があると思われる。5類になっても集会や買い物にはマスク姿で互いに距離をとる習慣が生まれたので、人が寄っても盛り上がりに欠ける。職員は毎月交代で各地区に出向き町民の啓発を行う。紅花まつり、あゆ祭りで活気があふれるのは望ましいので春に桜祭りを計画してはどうか。地域の獅子舞を交代で披露するとか。中高生が出る場を設けて地域愛を育てる。スクールバスで会場まで運行する。

ちょっと気軽に飲める居酒屋、喫茶店、カラオケ、何もなくて悲しい。激辛ラーメンやデカ盛りは SNSを見て訪れる人は必ずいると思う。

東西の山頂に発電所を作る。太陽光発電で売電する。景観より実益

長井市の行者菜のような白鷹の名産品を作り出してほしい

農業問題が一番。若い人は今の農地をどうすればいいのか。平均年齢70過ぎで基盤整備もなっていないのでは農地を守れない。今は働けるうちは働きたいという人も多いので働く場所を確保してもらいたい。

働き口がすべてだと思います。職場がなければ暮らしを続けることはできません。例えば近隣市町に大企業ができてそのベッドタウンになるもよし。とにかく町内に住み続ける絶対条件は仕事があること。仮に出生数が増えても仕事がなければ外に出ざるを得ません。過疎化で町内活動が維持できません。近隣と合併していくしかありませんが自治での解決は難しそうです。行政の手が入る必要があるのでは。また、ゆくゆくは自治での活動が難しくなり行政ですべて担ってもらうしかないのでは。区費などを税金として納め、行政サービスにしてもらうとか。

パレス松風の露天風呂をもとのようにしてほしい。町外の人から露天風呂がないから楽しめないという話を聞いた。スキー場の情報を教えてほしい。ホームページの更新がなっていなかったため、情報が得られなかったようだ。更新してほしい。

ふるさと納税が県内最低だと知り、ここを強化することが大事だと思いました。上位の寒河江市、山形市などはかなりの納税額があるためです。また、地域の活性化として野菜を例えば1000円でとり放題にするとか、温泉のプレミア券を年何回か発行するとか、町内の施設のスタンプラリーで特産品がもらえるとかも楽しいと思う。町内のライトアップしているところのフォトコンテストとか、さくら回廊フォトコンテスト、白鷹の春夏秋冬フォトコンテスト、そば街道スタンプラリー(くじ引き付き)。長井線の「桜かい道 桜姫」とか「紅花畑の紅娘」のコンテストでマスコット的な女の子たちにPRしてもらうとかもいいかもしれないです。そういう記念写真を撮れる場をもってもいいと思います。

まず企業誘致をし、人が働いて、人口を増やすことが先決。それとともに、住みやすい町づくり、施設の充実、子育てしやすい環境づくり、老人への福祉サービスの充実が大切。そうすればおのずと地域コミュニティが活性化していくのではないか。今白鷹町は賃金が横並びになっており、役場が一番高い。この状態は良くない。賃金アップがない限り、人が集まってくることもなく、流出していく。

町存続のためには企業の誘致が不可欠。最近、誘致の話がなくなりました。働く場の無い事は町の 消滅につながる。部落や集落はもう消滅の危機にある。

町の活性化。本屋や飲食店等充実した施設が欲しい

町の取り組みを把握していなくて回答が難しかった。鮎貝に住んでいるが四季の郷に若い人が増えていてありがたい。交流はないが。低温倉庫でフラワー長井線の景観がさみしい。ラッピング列車が走るのが自慢でしたが、景観がいまいちです。

町の西側にも商業施設を増やしてほしい、西側の交通の便の改善

周りのお子さんを見ていると大学進学等で県外に出て行き、そのまま県外で就職するケースが多いと感じる。それでは出生から成長過程で助成してもらった税金が無駄になると感じる。町内に魅力的な会社、職場があれば一度県外に出ても戻ってくるのではないか。そんなお仕事をする環境があってほしいと思います

未婚の人は地域活動に参加しにくくなっている。白鷹で商業をしてみたいという人を支援する仕組 みをしてほしい

難しい内容が多く順位もつけられなかった。若い人に定住してもらうには、仕事が無くてはダメだし、結婚できなければ出生率が上がるわけもない。家族単位での教育が大切。親が住んでいて楽しい町ならば子どもにも伝わる。

もう少し働く場があればいい。年金だけでは生活できない。

モーニングができるチェーン店がほしい

もともと山形出身で今は宮城で看護師をしている人が、なかなか戻って働きたいと思えない理由として賃金の安さを上げていた。帰りたくても帰れない実情があることを実感しました。これからを背負う若者が希望をもって住み続けられるまちづくりが必要でないでしょうか。

山の上の温泉は不便。パークゴルフも不便。もっと便利な場所につくってもらいたい。イノシシが 大変で畑が作れない。電気柵も作ると事が決まってくる。

豊かな野菜、果物、米が育つ町になってほしい。蕎麦屋も増えてほしい。鮎がもっと獲れるようになってほしい。聖火リレーのトーチを頂いて有難い。

ローカル線プロレス大成功。山形には社会人プロレスもあり、集客が見込める。

若い世代が定住できるような雇用環境や商業施設を誘致してほしい

若い人に地元に残って就職したいと思ってもらいたい。そういう人たちが働ける企業づくりが大切だと思う。保育料無償化はありがたかった。学校費と学童費で結構かかるので少しでも支援してもらえたらありがたい。

若い人や移住者に定住してもらうために就職先の確保を検討。

若者が留まることができるような働く場があればと常に思っている。

若者が残ることはもちろんだが 6 0 歳以上の人が働ける場所が必要。年寄りがいつまでも車に乗ると事故も増えるのでその辺もどうにかなれば

<道路、交通の分野>

・荒砥橋の川東側の赤白ブロックを取って早く道を整備してほしい。・歩道に草が伸びていて歩きにくい。景観が悪い。綺麗にしてほしい。

・バス停の増加・バス料金の見直し・フラワー長井線料金の見直し・大型スーパーを増やす・大学 卒業まで子育て家庭の支援・医療費を年齢制限なく支援・子どもの遊び場を増やす

①役場西側の公道からの入口部分が狭くて出入りしにくく、事故になるリスクが高いため、駐車場を削って広げるべき。②町立病院につながる北側道路が変則的なカーブになっていて通行がしにくい③白鷹大橋東側の道路について改修されたものの、歪みや小さなカーブがあり走りにくい。せっかく立派な橋を架けたのに取り次ぎ道路の整備が中途半端だと思う。④最上川の河川敷を整備して、景観を整えると共に、町民が各種行事に利用できたり町外から訪れた人の印象を向上するために公園化できないか。⑤外国人材を積極的に受け入れ、町全体の活性化を図ってほしい。

R348は通り過ぎるだけでなく、立ち止まる国道にすべき。振り向いてくれる環境づくり(商店も)。今はすべて車で来て買い物する人が多い。

あまり住みたいと思わない。長井市のようにバスを隅々まで通してほしい。

鮎貝は、歩行者用の信号がなく、とても危険に感じる。ファミリーマート前は交通量の多い時間帯に歩行者の横断待ちがあるが、信号ではないので見えにくく、わかりにくい。下校後、学童まで歩いて行く子どもたちも信号のない横断歩道を渡らないといけないため不安。住宅地に街灯が少ない。

鮎貝のきらやか銀行から郵便局は消雪だが、道路がゆがんでいて平らで名所に水がたまる。補修してほしい

移動手段がなく買い物や通院が困難に。デマンドは予約制であまり利便性を感じない。コミュニティバスはできないのか。路線バスの高齢者の利用拡大に向け補助しては。設問が難しいもっと簡易にしてほしい。

車が運転できなくなった時が不安なのでその対策を考える必要がある。普通の生活ができればいい と思う。観光の時にもよくなると思う

車がなくても安心して暮らせる街であってほしい。買い物に行けなくなったらどうするか心配

交通網の整備。国道348の山形市内へのアクセスの短縮化。高規格道の整備。国道287の拡充。子育てに力を入れるなら大きな室内遊技場をつくる。子供だけで来られないので親も来る。近くにカフェなどもあればなおいい。おしゃれな町になれば楽しい。

自身が高齢者になった時に、交通システム等十分に機能できているか不安がある。移住を検討する 人も将来的に、インフラが確保できるか気になるのではないかと感じる。

小学校の送迎バスについて、近所の子はこの度のクマ出没のために独自で送迎をしていたとか。バスに乗るのは200m足りないそうです。目の前を空席のあるバスが通るのを恨めしく見ていたとか。もう少し融通の利く対応はできないものでしょうか。

白鷹大橋の赤白ブロックはいつなくなるのか。火葬場への道がわかりにくいのでわかりやすく整備してほしい。介護施設はいいところが多い。

白鷹町には大型店や病院が少ない。老人や子供が安価で使えて町外に行けるバスなど作ってほしい

スクールバスの停留所すべてに看板つけてほしい。バスを待っている生徒が道路に出ていて危険。 企業が工場を出してほしい。逆に若者が外に出ていく。町工業団地をしっかりして、安価にすれば 町に来ないのか。半導体とか。 すべての町づくりは道から始まる。道が良ければ人は交流し、地域も活性化する。道路整備に力を 入れてもらいたい(特に西側)

地域活性化には道路整備が必要。雇用が増えれば子育てにも関連するので企業誘致やトップセールスは大事。グローバルな視点で官民連携を。私も協力したい

町内を走る、呼べば来る小型バスTELやアプリで予約して自宅近くから目的地近くまで乗せてくれるタクシーより手軽で安く使えるバスみたいなのあったら便利かもしれない。バス停のない貝生地区に来てほしい。

西側から役場やスーパーに行く循環バスがあれば子供たちや車がない人が便利。アンケートが難し すぎて答えにくい。見ただけで答えない人もいるのでは。

年金暮らしになると金銭的なことが心配。交通手段、雪下ろし、雪片付けなど不安でいっぱいです。

町活性化のため、交通インフラの充実に取り組んでください。白鷹町は高速なし、鉄道行き止まり、空港無しで山形市までは峠道と、高畠や東根と比べると交通が不便に感じる。仙台と新潟とを結ぶ高規格道が白鷹を通るとよさそうです(なんとなく)

町中心部のみではなく山側の道路の整備というか草の生い茂りや道にはみ出ていないかなど見回りをして手をかけてほしい。木がうっそうとして暗くなっているところもある

免許返納後の利便性向上

免許返納したら買い物が困難。デリバリーサービスがない。もう少し頼みやすい、すぐ乗れる交通 手段があるといい

夜間のタクシーを充実させる。可能なら無人のもの。飲酒運転が減らせる

<環境対策の(野生動物対策を含む)の分野>

・人口減少を食い止めるために環境づくりや支援をしてほしい・一人暮らしの方への訪問や災害時の助けを誰がどうするのか町内のみんながわかるようにしてほしい。人命第一。

赤ちゃんから高齢者までみんなが住みやすくきれいな町にしてほしい

空き家が多く見た目も悪い、空き家対策の重視

空き家が増え、獣の住処となり、ぼろぼろになっていく。町の方でもどうすることも出来ないのはわかるが、少しでも環境が良くなって安心して住めるようにと思う。

空き家対策について、毎年空き家が増加し、家の囲いは雑草が人の背丈以上に伸び、雑木も数本大きくなっている。庭木も大木になり、果物も大きくなっている。家の中には野生の動物も住みついている模様。今年は熊が出たことから夜は出歩かないように子供達に注意しました。町内全体となると大変だと思うが隣近所の方の話を聞くなど、現況を調べるべきだと思う。

荒砥駅の清掃。玄関口に汚れがあっては印象が悪い。荒砥城の整備。木を伐採して見晴らしをよくする。

移住者を増やしたいならくみ上げ式のトイレを減らした方がいい。若い人はウォシュレットに慣れていて、においの強いトイレは設備としてマイナスしかない。公共施設は割合充実しているように見えるので今あるものをどう使うかが問題だと思う。自然、文化、歴史を維持するための次代をどう確保するか。若い人の意見を集めて考えては。町職員や住民に穏やかな人が多いのは魅力だと思うのでどうか大切にしてほしい。

クマで困っている。クマの専門的な研修や情報が欲しい、研修会をしてほしい

クマやイノシシを見つけても面倒だからと通報しない人が多いので、見回りをして駆除に力を入れてほしい。

これからも毎年ゴミ拾い等があればいいと思う。

上下水道の整備だけではなく、用水のうちU字溝が入っていないところは早急に入れてもらいたい。除雪や消火作業に使えるときもあるはず。

猫の放し飼いに困っている。近所の猫で苦情も言えない。行政で何とかならないものか。

畑仕事を生きがいにしてきたが、野生動物に荒らされてやる気が失せる毎日。こんなつまらない白鷹町にいつからなった?畑づくりが楽しいと思える毎日であってほしい。

有害鳥獣対策をしてほしい。若者が定住したいところにしてもらいたい。近くに職に就ける場を作ってもらいたい。

<効率的な行財政運営、行政への期待>

若い世代の参加を願うなら口は出さずにお金を出して、上から意見を言わず下から意見を聞いて、動かそうとしないで自分から動こうとしてほしい。役場にもたくさんの若者がいます。意見を聞いているとは思うが新しいアイディアをどんどん取り入れてほしい

- ・SNSを活用して町をPRする。・各種メディアへのプレスリリース何をするにも内輪だけでやっている気がする。住民や職員の満足感も大事だが町外にもっと広報すべき
- ・今回のアンケートの結果を生かしてほしい。・採算が合わないとか経費がかかりすぎるとかの要因で行政サービスや事業を縮小したりやめたりするのではなく、目的を明確にし、将来を見据えて必要なものには町のお金をどんどん使う。・現在の個人のお金(仕事)が最優先される世の中から、地域活動やボランティア活動が優先される町にしていきたい。
- ・町職員で事情があり遠方に住んでいる人もいるとは思うが、税金が町に落ちるような仕組みづくりをしてほしい・町の商店がこれ以上減らないよう、町職員などは積極的に利用するなど仕組みづくり・人材が不足しているのでできるものは削減する・農業関係に従事する職員の確保、スキルアップ・農業委員、最適化推進員の増員とスキルアップ、女性委員確保
- ・役場駐車場に電気自動車の充電器を整備してほしい。・ボーナスを削減し臨時職員に回してほしい・職員を減らして臨時職員を増やしてほしい・倉庫ばかり作らず住宅を誘致してほしい・屋内運動場がほしい・議員を減らして保育園のスタッフを増やしてほしい・補助金を出して町が明るくなるようにしてほしい・税金を上げて地域に還元してほしい・ふるさと納税をもっと活用してほしい・町職員の生活水準が高すぎるので改善して模範となってほしい・一生懸命な町職員を見抜く目がない

親としては息子に本アンケートのようなまちづくりに参加してほしかったのですが、残念ながら町を離れることになってしまいました。まちづくりに対しての6次計画の内容をよくわからず記入してしまいました。公民館などで計画の説明を実施されていると思うのですが、各項目わかりやすく、進捗状況などあればさらにいいアンケートになったのではと思います。HP、町報にもありませんでした。町に望むことは上記の通り活動内容をわかりやすく発信することです。各項目を進めていくことは大変だと思いますが、町民のために尽力をお願いします。

60代~70代は元気。年の功を生かしてもらいたい。男女共同参画と言いつつ、講演会などは女性ばかり。男性にこそ聞いてほしいと願う。封建的ともいえる白鷹町の男性に目を開いてほしい。地域の和が薄くなりつつある。役場職員の数が足りているのか。人件費はかかりますが、必要な数を確保してください。

アンケート前半の問いは町の計画を町民が良く理解している前提ですが、そこまでのレベルにありません。このアンケート結果はあまり史料価値がないかもしれません。若い人の意見を行政に生かしてほしいと思います。私たちよりアイディアもあり真剣です。毎日の行政対応お疲れ様です。

アンケートだとうまく答えられないので職員が一軒ずつ回って困りごとを聞いてほしい。各地区の 区長や町内長は役に立たない

アンケートを通して、いかに町のことを知らないかを実感しました。町民のより多くに町づくりの大切さを行動力を知ってもらうためにも見える町づくりを希望します。

いらない建物多すぎ、金の無駄。もっと必要なものがある

会議などで集まる負担を減らすため、リモート会議にしてはどうでしょう。

会社、企業にしても、白鷹町にしてもトップが胡坐をかいているようでは何も変わらないと思います。昔から当たり前に使っている経費も見直して新しい町づくりに取り組んでほしいです。

買物、お金の事、手続き関係、全て荒砥まで行かないと出来ないことだらけ。車がなければ荒砥以外の町民は大変。子供を産む所は山形か置総で近くにない。若者も出て行ったきり戻らない。白鷹町を荒砥にコンパクトに集約し山間部の人も集約すれば利便性の向上がはかれると思う。

行政が何に力を入れているのか、会社に通っている私には届いていない。多くの人にわかりやすく 目に届くようにした方がいい。図書館イベントやあゆーむ演奏会はとてもいい。紅花にちなんで、 グッズを作ったりしているところもいい。もう少しリサイクルに力を入れてほしい。フリマや譲渡 会など。今住んでいる人を第一に考えてほしい。古民家等をリフォームして撮影所としてもいいの では。レンタルルームとか。付き合っている人と暮らすには早いし、ホテルも高いので自宅のよう に寛げるあまりお金のかからない、プライベート空間が保たれるところが少ないのであるとよい。

行政サービスが一極集中にならないよう、役場から遠い地域へ一ヶ月何回か職員による巡回ができないか。ちょっとした用事のために役場まで行くこともなく、近場でできるなら、老人は助かる。 オンラインが発達しているので可能だと思う。

行政職員に感謝。楽しく仕事ができていますか?自分の意見を言うことができていますか?聞いてもらえていますか?屋内で遊べる場所が欲しい。5次計画にあった子ども100人プロジェクトはどうなったか。

行政のデジタル化でコスト低減、ICT教育強化で質の向上

現在の役場職員は事務屋で民間に比べると企画力が非常に劣っている。民間の優秀な人材登用が必要。急激な人口減少で役場の組織の維持は困難なので合併すべき

広報しらたかや地区のセンター報等、町の行政情報等は地域の発展につながっている。地域包括支援センターは高齢者にとって安心して暮らせる。地域支援事業サービスや百歳体操等、日常生活に役立っている。冬に除雪で道路が綺麗になるのは良いが、多くの雪が置かれるのは困るのでなんとかしてほしい。

高齢化社会になり、収入を得るあてがない住民が多い中、税外負担が多すぎると思われる。今まで やってきたからではなく検討をお願いしたい。すべて中央に集合していく中で近隣地域が利用しや すい環境づくりを忘れないでほしい

子育て支援は手厚いが、子どもを持たない家庭や高齢世帯への支援は薄く感じる。今後もこの地で生活していくことが楽しいと思えるよう、働きがいのあるような政策を打ち出してもらいたい。政策の目的や内容が難しい。町としての考えがよりわかりやすく伝わるように、かみ砕いて知らせてほしい。物価高で生活が苦しい。支援が欲しい。

このアンケートがどのように利用されるか分からないが、行政として、この町をどのような町にしていこうと考えているのか、「青写真」を提示して頂きたい。「たたき台」がないことには住民は考えようがない。荒廃農地については、すでに「農業を続ける人は、大規模農家のみ」となっていて、発想が「企業的発想」であり、「国土保全」「食糧安保」的な発想にはなれなくなっている。これは国家規模で考えられる政治にならないと思われ、悲観的にならざるを得ない。

このアンケートがまちづくりに役立ちますように。

これからも町民のためによろしくお願いします。

今回のアンケートについて、質問が難しく、わからないのに評価するようで申し訳ない気持ちです。こちらが知らなければいけないのですが町報などを見ていてもわからない内容が多く、正しい評価ではないと思います。職員の方大変だと思いますが、よろしくお願いします。

自然の流れにあらがっても無理。国からの地方税頼りの行政にはいずれ無理がくると思う。基本的に人口規模での行政であるべき。小さな行政のあり方を学ぶべき。

市町村合併も考えた方が良い。

自分は年齢的にパワフルな活動はできません。町発展のために役場職員はじめ若い人の奮起をお願いします

住民票や戸籍関係の書類がオンラインで取得できるようになってほしい。

将来は合併するのでは

職員教育を徹底してください。言葉遣いが気になります。

白鷹町での生活は地域での出費、人足があり、税金のようだ。役場職員は県及び国に対しての営業マンともいえると思います。白鷹町での日本一又は世界一的なもの。とにかく一つのものに大きくお金をかけて大きな企業を誘致するとか。

住みやすい町でとても過ごしやすいです。お嫁に来てよかった。いろんな人に勧めたいし知ってほしい、住んでほしい。将来もっとすてきな町になることを望んでいます。一緒に白鷹町をすてきな町に!

税金の無駄をなくす。このアンケートも無作為で送付となり、障がいの重い人や高齢認知症で判断できない方まで送られてくる。人から集められたお金であることを心にとめていただきたい。一極集中から地方分散となれば違ってくる。地方にきた企業の法人税が安くなるなどあれば良い。

外からの人も大事だが元からいる人を大事にしてほしい。少ない人口でも続けられるコンパクトなまちづくりが大切なのでは。住み続ける人への支援をしてほしい。きめ細やかな支援は国や県ではできない。

地域活動も重要なことは分かりますが、今までのことを同じにすることを考えていると思う。もう少し地域住民が少なくなっていることを再認識して事業を圧縮してもいいのでは。新しいことへの取り組みと税金の有効活用=経費節減を具体的に取り組む。職員のレベルアップ

町長の在任期間が長くなり偏ってきた。庁議も意見を言わない人ばかり

町内外へのPRをもっとしたほうがよい。何を発信するのか考えるのが必要。

町報などをよく見ると、一生懸命企画運営していてありがたい。人権尊重も重要。多世代交流で、遊べる、動ける、話せる場や機会があったらいい。学校行事の見学応援などすばらしいボランティアになるのでは。人々を巻き込み集まることにより一言二言の言葉から人々に潤いが生まれ活気づくのではないか。

町報の戸籍の窓は必要か。個人情報を今の時代いいのか疑問。

町民が困っていることに早急に対応してほしい。町道の街灯がきれたことがありましたが、町内長から区長、役場に連絡、すぐにはつかず復旧まで1ヶ月以上かかりました。電気工事の人に連絡すれば直ぐなのでは。他人事としか思っていないのでは。

問13の順位をつけるのに困りました。どの施策も今一つでこれと思えるものではなかった。一応順位を付けたが基本計画とプロジェクトの見直しが必要では。

とてもとても難しいアンケートでした。全部に回答は書けませんでした。でも私はこの町が好きです。

望んでもどうせ聞くこともしないだろうし改善するとも思っていない。このアンケートも聞いてますアピールだけ。「とりあえず」「その場しのぎ」こんな感じに行政で長期的な目でまちづくりを企画できる人がいない

他の市町村などをテレビで見ていると、白鷹はこれがすごいなーというものがない。もっと若い職員などがアイディアを出しアピールして、すごいなと感じられる町にしてほしい

マイナンバーカードを作ったがコンビニで住民票が取れないので使い道がない。

まずは役場職員の地域行事への参加をしてほしい。教員にもいろんな活動に率先していってほしい。今後の白鷹町のため、町職員のリーダー性に期待せざるを得ない。役場の人は鬱の人が多いように見えますが上下関係が原因ですか?内部のことは知りませんがとにかく町のためにきちんと働いてください。

町職員、幹部、町長はもっと町民に愛をもって接すること

町職員になる人を養成(中途採用する)。発想力のある人材の採用。人口減少は止められないので それに合った施策を

まちづくり、地域活性化は町民主体であるが、裏の主役は町職員が先頭になり、企画立案、実施するもの。座談会は補佐、係長、新任者など若い職員が出向き住民との話し合いが必要ではないか。 お互い結果に偏らず、話し合うことが大事では。

町でやっていることがよくわからないので町報などにイベントのことなどわからない人向けに載せ てほしい

町の行事のPRに不足を感じる。新聞記事で初めて知るのも多く、参加してみたいと思っても特定の人だけになっている。アンケート項目がわかりにくかった

窓口では丁寧に優しく対応していただいて、昔と比較しても建物の明るさなどもあってか、役場の雰囲気は良くなったと感じています。また、中央公民館のフロアが庁舎とつながっていることで、利用している児童・生徒・学生から社会人や年配の方まで役場を身近に感じる人も多くなったのではないでしょうか。「まちづくり」と人を含めた役場の雰囲気づくりは、町の将来を見つめるにも重要と感じます。若い職員の方々がいきいきと働いている風景は私たちに安心感(将来に対しても)を与えてもくれるので、ぜひそんな町であってほしいと願っています。行事やイベント等については、特に若い年代に負担が集中する傾向があるので、取捨選択も必要かと思いますが、その中でもこれだけは大切に守っていきたいものや、自分たちの誇りとして将来に残したいと強く思えるもの・ことについては枠外からの応援・支援があっても良いと感じます。まったくの自由意見です。

難しい状況が進むと思いますが今後もよろしくお願いします。

役場職員(公務員)が中心となってまちづくりを進めてください。一般人は自分のことで精いっぱい働いています。

役場職員は公務員だが、人のため、町のために心から働いている人がどのくらいいるのか。行政の働きが衰えるかもしれないとあったが、公共のために働くことを自覚すればカバーできる問題。おかげ様やお互い様という気持ちを養う教育も必要。白鷹町は好きだが、役場の中で自分の身を守るための仕事をしている人が多くいると感じる。もっと公共のことを考えてほしい。

役場の方だけでは実現不可なので町民や関係機関が役場目線に立てればいい議論ができる。難しい テーマですが頑張ってほしい。

若い人の意見を重視して、このアンケートを活用してください。

若者に町が何をやっているのか伝わるようにする。余計な施設を作らない。

<その他>

1月下旬、もしくは2月上旬に中絶をしなくてはいけません。経済に不安がなければ、産んであげられるのにと毎日泣けてしまう。相談できる人もいない。仕事での給料の安さなど、子育てをしていくのが大変です。いっそ死んでしまいたいと思う。将来なんて光がない。この環境から抜け出したいと思う。

80歳の老婆にはとても出来ないアンケートです。せめて70代までを選んで下さい。よろしくお願い致します。

アンケートが難しかった。誰でもわかるようなアンケートにしてほしい

アンケートのための資料もなく急に送られてきても内容が分からない。項目が多すぎる。WEBでの回答もできるようにしてもらいたい。何のためのアンケートかわかりづらい。施策の内容がわからないので評価できない。

外国人労働者も増えているようですが自転車か徒歩で寒い日など大変そうです。何か支援を考えて あげられないでしょうか。西側の活性化に期待します

貝生地区というのが苦痛

カタカナ、横文字が多くなり読みにくかった。

行政の専門知識がなくアンケートがわからない。今後の重要度については順位ではなくすべて重要 ではないですか。アンケートとしてもっと生活に根差したものにしてほしい

現状維持を望む

こういう機会がないと、町の政治に関して無関心だったので、知らないことが多かった。

こういう事は私らが選んだ議員さんに頼んであります。

国民年金で暮らせるようにしてください

ご苦労様です。今後ともよろしくお願いします。アンケートの項目が多過ぎて負担だと感じました。わからない項目も多いです。一町民に対するものであれば、もう少し絞っていただけるとありがたいです。

外出できないのですが帰れるようになったら帰りたいです

このアンケートがWEBで答えられたら…と思いました

今後の優先順位はこのアンケートでは判断できない

自分の回答が妥当か、自信がない。世の中の知識を豊富にし、人と接して実際の的を得た意見を出せるよう精進したい。

少子化対策は重要だが、行政が結婚というプライベートな部分に関与すべきでない。LGBTQへの配慮にかけている。婚活サポート委員は結果を出していない。荒高が存続するようもっと町に動いてほしい

白鷹は車社会なのでドライブスルーできるポストを作ってほしい。ポストが少ない。

真摯に回答できるほど理解していなかった

新聞や町報などの読み物にカタカナ用語が多い。今後手続き等で不安に思う。

住みたいと思わせられて長井市より何か特徴があればいいんだけど。特徴がなく田舎っぽいのがここなんだけど。何もない

性的少数者に配慮した町であってほしい。このアンケートの最初に性別を選ぶところがあったが今はゲームですら「どちらでもない」がある。こうした配慮を自治体でも進めてほしい

世界の大いなる循環の中で、健全に維持していくための適正な人口はどの程度なのか考えている。 それが分かれば目標や対策が立てやすい。置賜定住自立圏共生ビジョンが各市町の生き残り競争に ならないことを祈る。

設問数が多く、考えようとしてもどう答えていいかわからない内容も多くある。特に最後の順位を つけるは答える側からするとどうなのかと思う問い方です。アンケートの作り方も今後のために問 い直す必要があるのかと思う。他の人にも聞くと、答えていて最後の方はいやになったという声で した。

代筆しました

大変良いまちづくりの方向だと思っています。

町政運営、町づくり等ご苦労様。アンケートで多少考えさせられたところもあった。関心を持てば 自分も変われるか。

デジタルに非常に乏しいのでそれに強い人材の育成に力を注ぐ。リスクや自分ことしか考えられない人が多いので若い人のために考えられる人が増えてほしい。私は町外勤めのサラリーマンですが、育てて貰ったこの町に生涯住んで陰ながら力になりたいと思っています

歳を取るばかりでどうしたらいいかわからない。

内容が多岐で全部に答えることができない。

働かない町議は途中でも辞めさせてほしい。税金の無駄。

町職員の方が大変頑張っているのだと思うのですが町報を見ることもできません。なので行政やらイベントやら全くわからない状況です。すみません。一つだけ、白鷹山が頑張っているので町全体で応援できたらと思います

まちづくり地域づくりに関して「還暦過ぎたら口出すな」という人もいます。私のような高齢者の 意見は無視した方がいいのでは

若者が町に住んで生活出来ない世の中を作ったのは誰でしょうか。国の政策が悪いし県も町、農協も悪い。これからも生活出来なくなるばかりです。日本よ目を覚まして生きていける世の中になってほしい。皆で作っていこうと思う国民になりましょう。

女性の発想を生かすことが大切

特になし